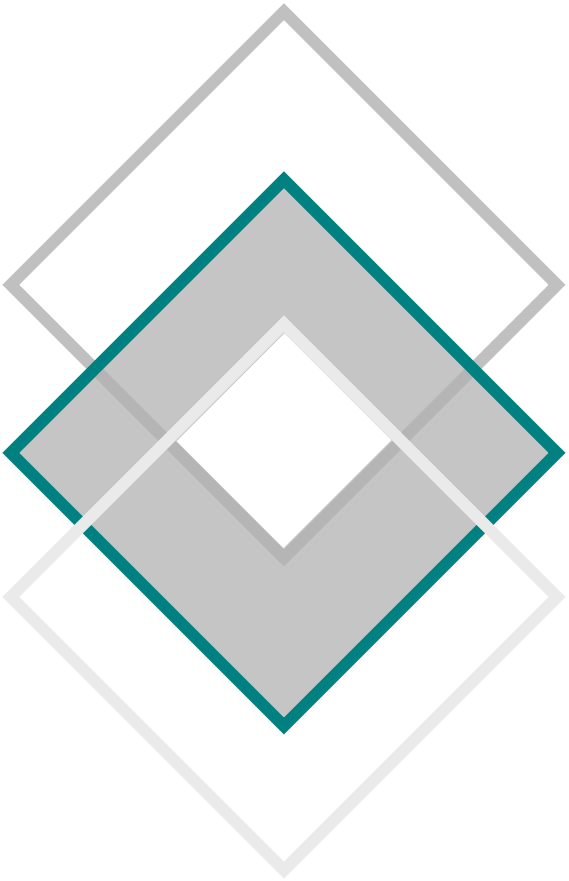
Digit@Link ActiBook

ActiBook SaaS 基本詳細マニュアル



全ての紙メディアをインターネットに

startialab

http://www.startialab.co.jp

2016/05/16

１　目次

１ 目次 2

２ 動作環境 5

３ ACTIBOOK SAAS 基本機能 9

４ ログイン画面 10

５ コンテンツ一覧画面 12

５－１ コンテンツ一覧画面の表示項目 13
５－２ ログアウト 14

６ コンテンツの新規登録／編集 15

６－１ 「登録」（新規登録）、「更新」ボタン（上書き保存） 18
６－２ 「キャンセル」ボタン 18
６－３ ① 変換用 PDF 19
６－４ ② ブックタイトル 19
６－５ ③ 見開き設定 20
６－６ ④ 出力設定 21
６－７ ⑤ 現在の PDF ファイル 23
６－８ ⑥ FLASH 版/HTML5 版拡大率設定 24
６－９ ⑦ ログ解析設定 24
６－１０ ⑧ ペンツール設定 25
６－１１ ⑨ 検索設定 26
６－１２ ⑩ 共有機能設定 28
６－１３ ⑪ PDF 抽出設定 40
６－１４ ⑫ コンテンツ配信方式設定 41
６－１５ ⑬ オプション機能 42
６－１６ ⑭ インフォメーション設定 43

７ リンク/目次機能の追加 45

７－１ ブックカスタマイズの設定方法に関して 45
７－２ リンク/目次編集ウィンドウの使用方法 46
７－３ 目次編集モードの切り替え 48
７－４ ファイルマネージャーにて音声/動画ファイルをアップロード 51
７－５ リンク生成モードの切り替え 53
７－６ リンクプロパティの設定 55
７－７ スマートデバイス版共通出力プロパティ設定 64
７－８ リンク設定の削除 65
７－９ リンク設定の保存 66
７－１０ FLASH 版ボタングループの設定 67

７-１１ ビュワーボタンのカスタマイズ 69
７-１２ ビュワーボタン表示部 70
７-１３ ビュワー側ボタンプロパティ部 71
７-１４ 広告ボタン枠の操作方法 72
７-１５ リンクデータの CSV 読込み/書出し 73

８ ログ解析の設定 76

９ 検索オプション 77

１０ コンテンツ詳細情報画面 78

１０-１ コンテンツ詳細情報画面の表示項目 79

１１ アカウント情報画面 81

１１-１ アカウント情報画面の項目 82
１１-２ アカウント情報の編集 83
１１-３ パスワードの変更 84
１１-４ スマートデバイス登録アカウントの設定 85

１２ スマートデバイス用コンテンツ公開までの流れ 87

１２-１ 登録システムの仕組み 87

１３ コンテンツ登録システムの操作 88

１３-１ コンテンツ一覧画面 88
１３-２ TOP 画面 88
１３-３ コンテンツ登録、編集 89
１３-４ コンテンツ一覧 エクスポート機能の使い方 93
１３-５ コンテンツ一覧 インポート機能の使い方 95
１３-６ インポート結果画面 96
１３-７ メディアサイトへの公開 96
１３-８ ブック存在の確認 100

１４ コンテンツ登録システムからログ確認 101

１４-１ ブックをベースにログを見る 101
１４-２ 公開会社をベースに見る 101
１４-３ カテゴリをベースに見る 102

１５ 登録後の動作確認 104

１６ ブラウザからコンテンツへのダイレクトリンク 105

１７ ダイレクトリンクの作成方法 106

１７-１ IPHONE/IPAD/ANDROID アプリ 「ACTIBOOK」 ダウンロードのリンク作成 107

１８ ACTIBOOK MANAGER との連携 110

１８-１ 初期設定１ アカウントの設定 110

１８－２ 初期設定２　ACTIBOOK MANAGER 連携メニューの操作 111
19 ACTIBOOK MANAGER 連携メニューの操作 112
１９－１ ACTIBOOK MANAGER 連携②（既に ACTIBOOK MANAGER に送信済みのブックの場合） 115
20【サポートへのお問い合わせ】 117

2　動作環境

ActiBook SaaS の動作に必要なハードウェア、推奨環境について説明します。

【制作者環境】

ActiBook SaaS の制作者（コンテンツ管理・配信者側）の操作環境

対応 OS / ブラウザ	Windows 7/ Internet Explorer9 以降、Firefox 最新版 Windows 8.1/ Internet Explorer11、Firefox 最新版 Mac OS X v.10.7 以降 / Safari 最新版 ※ブラウザで javascript が動作するよう設定されていること ※Microsoft Silverlight がインストールされていること
読込み可能なファイル	ページ画像ファイル： PDF ファイルのみが対象 音声/動画ファイル： MP3/MP4 ファイル

【電子ブック Flash 版ビューワ対応環境】

ActiBook SaaS サービスによって出力され、電子ブックとして出力された閲覧ファイル

ブラウザ	Windows Vista / Internet Explorer9.0 以降、Firefox 最新版、 Google Chrome 最新版 Windows 7 / Internet Explorer9.0 以降、Firefox 最新版、 Google Chrome 最新版 Mac OS X v.10.7 以降 / Firefox 最新版、Safari 最新版、 Google Chrome 最新版 ※ Adobe Flash Player 最新版がプラグインされていること ※ ブラウザで javascript が動作するよう設定されていること
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上が表示可能なディスプレイ ・XGA（1024×768 ピクセル） ・SXGA（1280×1024 ピクセル） ・WSXGA+（1680×1050 ピクセル） ※ 上記以外のモニターでは画面に余白が発生してしまう恐れがあります
回線速度	ブロードバンド回線（xDSL, FTTH, 専用回線等）を推奨
その他	文字コード： UTF-8

【iPhone/iPad 版ビューワ対応環境】

対応端末、OS 等の最新情報は、下記のサイトをご確認ください。

https://itunes.apple.com/jp/app/id373073800

下記の情報はアップルジャパン株式会社のホームページに掲載されている情報と同一のものがあります。

対応端末】

本体	iPhone、iPad、および、iPod touch 対応。
OS 環境	iOS 7.0 以降
iPhone / iPod Touch ディスプレイ解像度	iPhone:,iPod Touch 第 4 世代 高解像度 Retina ディスプレイ 1136×640 ピクセル
iPad ディスプレイ解像度	LED バックライト、IPS テクノロジー搭載 9.7 インチ（対角） ワイドスクリーンマルチタッチディスプレイ 2048×1536 ピクセル
ストレージ 必要空き容量	ページ画像を一時的(キャッシュ)に扱う為、1GB 以上の空き容量を推奨 ※ ストレージの空き容量により、キャッシュされるページ数は異なります。
その他	インターネットにアクセス可能な状態であること AppStore より「ActiBook」をダウンロード取得しインストールされていること

◆ インターネットアクセス
ActiBook スマートデバイス用アプリケーションは、AppStore よりダウンロードを行い取得します。
また、スマートデバイス用コンテンツ(ページデータ等)を取得する際にインターネットアクセスを必要とします。

◆ ページデータのキャッシュについて
コンテンツを閲覧する場合は本体のフラッシュドライブの空き容量によりページデータが一時的に
記憶(キャッシュ)されページデータがキャッシュされている間は、オフライン状態(機内モード)でも
ページを閲覧することができます。

キャッシュされるページ数はフラッシュドライブの空き容量により異なりますが、ページ拡大時の画像を含め
約 20～40 ページです。(キャッシュされるページ数は流動的であり、保障するものではありません。)

※ 上記は本マニュアルリリース時点での情報です。内容は随時変更になることがあります。
最新情報は下記URLにてご案内しております。

http://itunes.apple.com/jp/app/actibook/id373073800?mt=8

【Android 版ビューワ対応環境】

対応端末、OS 等の最新情報は、下記のサイトをご確認ください。

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.startialab.actibook&hl=ja

※　対応 OS のバージョンは Android OS 搭載の機種に依存します。
※　対応ブラウザについては、端末標準でプリインストールされているブラウザのみ動作確認をしております。
※　対応予定や対応時期は状況により変更する可能性がございます。
　　記載の無い端末に関しては普及率などを元に対応を随時検討しております。

ディスプレイ解像度	本体の仕様に準拠する
フラッシュドライブ 必要空き容量	ページ画像を一時的(キャッシュ)に扱う為、1GB 以上の空き容量を推奨 ※ フラッシュドライブの空き容量により、キャッシュされるページ数は異なります。 またフラッシュドライブの利用状況はお使いの端末により異なります。
その他	インターネットにアクセス可能な状態であること Android Market より「ActiBook」をダウンロード取得しインストールされていること

※ iPhone/iPad 端末と一部の機能について操作方法は異なります。
　未対応の機能については随時更新されているため別紙を参照してください。

※ 上記は本マニュアルリリース時点での情報です。内容は随時変更になることがあります。
最新情報は下記URLにてご案内しております。

https://market.android.com/details?id=com.startialab.actibook

【HTML5 版ビューワ対応環境】

以下に HTML ビュワーの動作環境を記載します。

ブラウザ	Windows 7 、8/ Internet Explorer10.0 以降、Firefox 最新版、 Google Chrome 最新版 Mac OS X v.10.7 以降 / Firefox 最新版、Safari 最新版、 Google Chrome 最新版 ※ Adobe Flash Player 最新版がプラグインされていること ※ ブラウザで javascript が動作するよう設定されていること □iOS 7、8 safari 最新版 □Android 4.1、4.2、4.3、4.4 5.0 (Nexus7【2013】、Nexus9) Google Chrome 最新版 (OS 標準ブラウザは未対応) (一部機種は正常に動作しない場合があります)

3　ActiBook SaaS 基本機能

ActiBook SaaS のシステムは、大きく分けて「コンテンツ」を管理する画面と「アカウント」の情報を管理する画面に分かれています。

コンテンツ管理の画面では、ＰＤＦファイルのアップロードからはじまり、新規コンテンツの登録／変更を行います。
アカウントの情報を管理する画面では、ログインパスワードの変更や利用者情報の登録／変更を行うことができます。

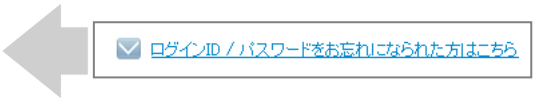
次のページより、各画面の機能を説明します。

4　ログイン画面

ご契約後に送付しました、アカウント案内メール内のログイン URL にアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

ログインＩＤ、パスワードを入力すると、コンテンツ一覧画面が表示されます。
ログインＩＤにつきましては、事前に連絡をさせていただいておりますのでご確認ください。

パスワードリマインダー



パスワードをお忘れになられた方は上図のリンクをクリックしていただき、ログイン ID とメールアドレスを入力していただければ「パスワードの再発行」が行なわれます

Digit@Link ActiBook

コンテンツ管理

5　コンテンツ一覧画面

コンテンツ一覧画面は、ActiBook SaaS の作業を行うメインとなるウィンドウです。
ＰＤＦファイルから電子ブックとして変換したブックの一覧が表示されます。

ActiBook SaaS のシステムに電子ブック化したいＰＤＦファイルをアップロードすると、
ＰＤＦから電子ブックになるまでの過程の状況をリアルタイムで表示します。
コンテンツの一覧画面は、初期表示としてそれら「全て」の状況を一覧として表示します。

表示されるコンテンツの状態は以下の通りです。

①　ＰＤＦファイルから電子ブックデータに「変換済み」のコンテンツデータ

②　ＰＤＦファイルから電子ブックデータに「変換中」のコンテンツデータ

③　ＰＤＦファイルから電子ブックデータに「変換失敗」のコンテンツデータ

次のページでは、コンテンツ一覧画面の表示項目を説明します。

5－1　コンテンツ一覧画面の表示項目

①　ログイン情報

ようこそ～様	ＴＯＰページのログイン画面からログインしたユーザＩＤのユーザ名を表示します。
○○% in Use	ユーザに設定されているＨＤＤ容量をパーセンテージで表示しています。 この容量はご契約のプランに応じて決定されます。
ログアウト	サイトの利用が終了したら、ログアウト（セッションの終了）を行ないます。

②　コンテンツ／アカウント画面切り替え

コンテンツ	コンテンツ情報の確認画面を表示します。 初期表示時はコンテンツ情報一覧（全て）が表示されます。
アカウント	ログインしたユーザ情報の確認画面を表示します。
ヘルプとサポート	マニュアルや、サポートへの連絡先が表示されている画面を表示します。

③　コンテンツ新規登録

新しくコンテンツを追加します。ＰＤＦを指定し、電子ブック化を行なうウィンドウを表示します。

④　コンテンツ状況の切り替え

PDF ファイルから電子ブックへ変換中のコンテンツデータを「変換済み」「変換中」「変換失敗」の状態別に絞り込む際に利用します。検索オプションの機能については、次のページを確認してください。

⑤　コンテンツ情報

登録されているコンテンツの情報を確認します。

5-2　ログアウト

ActiBook SaaS システム画面のヘッダー部にある「ログアウト」のリンクをクリックすると、「ログアウトしますか？」とメッセージが表示され、さらに「ＯＫ」ボタンを押すとログアウト（セッションの終了処理）が行なわれます。

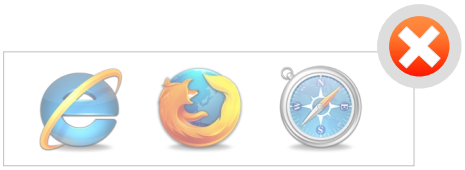
※　各変換作業を行った後は、必ず画面右上の「ログアウト」リンクからログアウト処理を行なってください。
ブラウザの「閉じる」ボタンを押してウィンドウを閉じても「ログアウト」処理は行なわれません。

ActiBook SaaS は

1．１つのアカウントでログイン中に、別のＰＣ・別のブラウザから同一のアカウントを使用して
　　ログインしようとすると、先にログインしたユーザのログインが優先される（先勝ち方式）
2．１人のユーザに対し１つのアカウントを発行してシステムを利用する

上記２点を中心としたシステム設計をしておりますので、１つのアカウントを複数のユーザで利用している場合
ログインができなくなる場合がございます。

万が一ログインができなくなった場合は、一度全てのブラウザを閉じてください。
その後、“何も作業を行っていない状態”（ＰＤＦから電子ブックへの変換作業も含む）から
30 分後に自動ログアウト処理が行なわれますので、時間経過後に再度ログインをお試しください。



6　コンテンツの新規登録／編集

コンテンツ一覧画面よりコンテンツ新規登録ボタンを押下すると、新しくコンテンツの登録を行なうことができます。

・コンテンツの新規登録の他に、コンテンツを作成後『コンテンツ編集』を行うことでも上図の画面が表示されます。
・再設定する場合は、1 度コンテンツとして生成した PDF データを再度登録する必要はありません。

「基本設定」のタブではブックを作成するための最低限の設定を行えます。

「基本設定」の項目のみ設定すれば、ブックの作成は可能です。

詳細な設定をしたい場合は、「詳細設定」のタブも利用します。

※「コンテンツ新規登録」画面と「コンテンツ編集」画面の機能は同じです。

下図は「基本設定」の画面です。

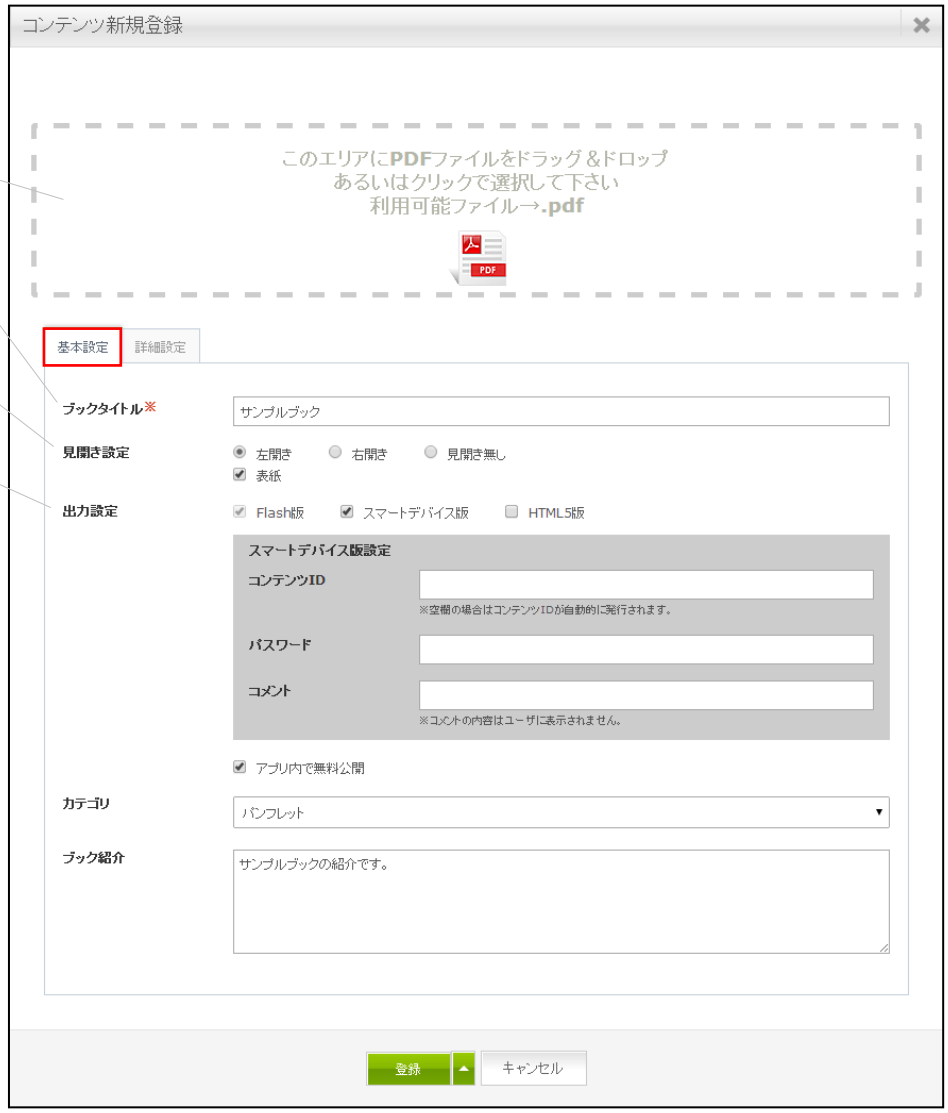
コンテンツ新規登録画面

① 変換用 PDF

② ブックタイトル

③ 見開き設定

④ 出力設定

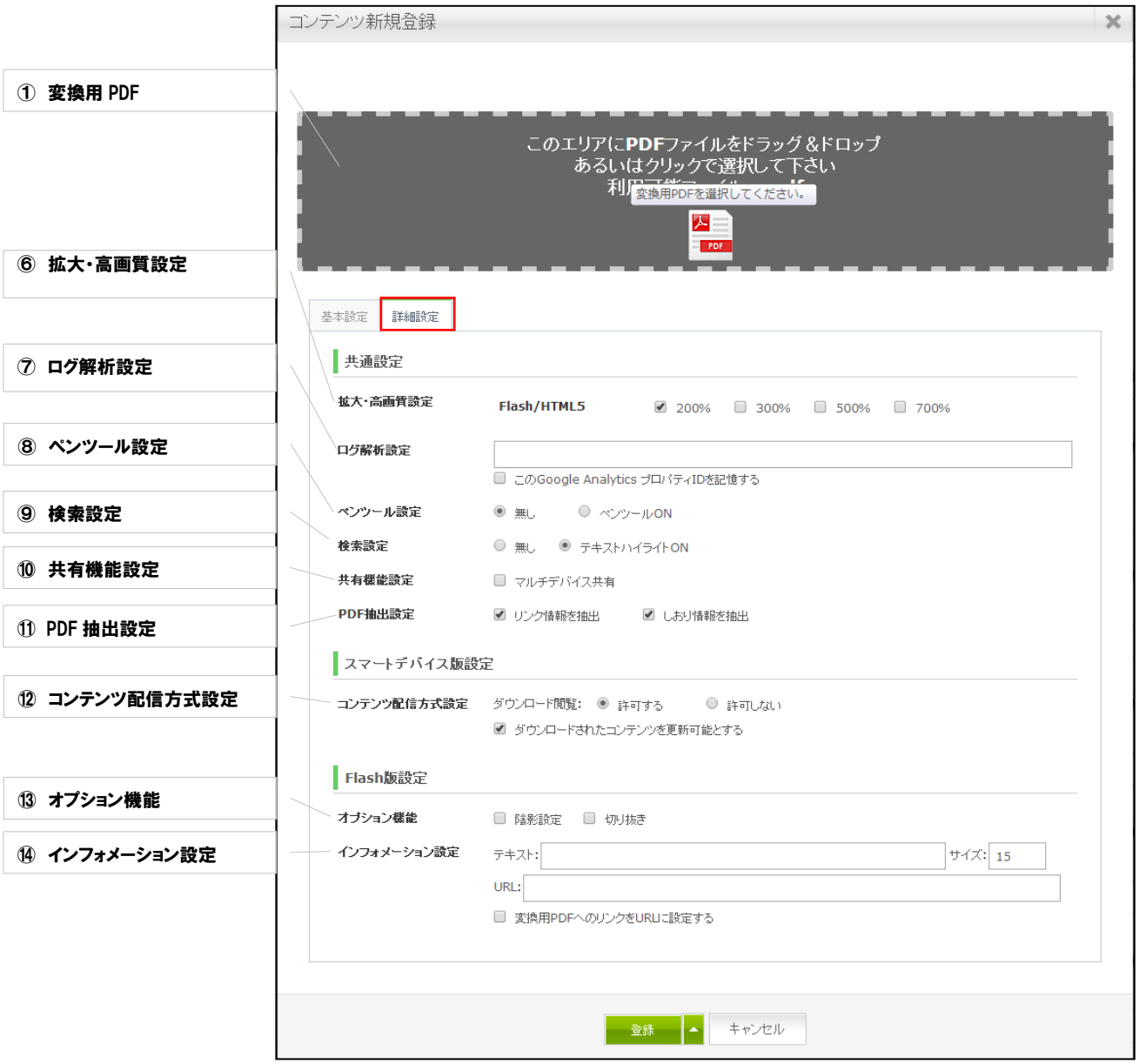


コンテンツ編集画面

① 変換用 PDF

⑤ 現在の PDF ファイル

下図は「詳細設定」の画面です。



6－1　「登録」(新規登録)、「更新」ボタン（上書き保存）

各種設定後、設定を上書き保存する場合に使用します。更新が完了すると自動的に画面遷移します。
※1 上書き保存時に参照する PDF を差し替えると、URL は同一のままコンテンツが作成されます。
※2　1 ユーザが同時に新規登録・更新出来るコンテンツの数には上限があり、３個までとしています。

「登録」「更新」ボタン横の「△」ボタンをクリックすると、下図のウィンドウがポップアップして表示されます。
公開、非公開、公開期限を設定できます。

・無期限公開…「無期限公開」にチェックを入れ、「登録」「更新」ボタンをクリックすると
コンテンツの新規作成、更新が行われ、無期限で公開されます。
ActiBook SaaS のブック URL をブラウザ URL 欄に入力すると、電子ブックを参照する事ができます。

・非公開…「非公開」にチェックを入れ「登録」「更新」ボタンをクリックすると
コンテンツの作成、更新のみが行われ、外部にコンテンツが公開されません。
ActiBook SaaS のブック URL をブラウザの入力欄に入力しても参照できなくなります。

・公開期間を設定する…「公開期間を設定する」にチェックを入れ、期間を設定後、
「登録」「更新」ボタンをクリックするとコンテンツの公開期間を指定して、ブックの公開が行われます。
公開期間外になった場合、ブックが非公開状態になります。

非公開に設定されたURLはオレンジ色になり、ブックのサムネイル画像の下部に(非公開)の文字が表示されます。

6－2　「キャンセル」ボタン

編集中の設定を中断し、編集内容を保存せずに終了します。

６－３　① 変換用 PDF

「基本設定」にある項目について説明します。

電子ブックとして、変換を行いたい PDF ファイルをローカル PC 内から選択します。

選択方法はエクスプローラー形式とドラッグ形式の２種類があります。

※Internet Explorer はドラッグ形式には対応していません。

・クリック形式…上図の赤枠内をクリックするとファイルを選択する画面が表示されるので、
　PDF ファイルを選択します。

・ドラッグ形式…上図の赤枠内に PDF ファイルをドラッグします。

【PDF 推奨フォーマット】

・RGB カラー

・フォント埋め込みを対応する事で検索機能が有効となります

・コピープロテクト及びパスワードは設定している場合、登録する事はできません

・レイヤー構造を含まない（んでる場合、再度設定保存してくださ）

６－４　② ブックタイトル

コンテンツのタイトルとなる「ブックタイトル」を入力します。

６-５　③ 見開き設定

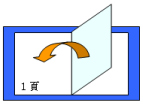
電子ブック表示時に、ページのめくり方向が「左開き」「右開き」「見開き無し」になるかを選択できます。

「表紙」にチェックを入れると、常に見開き状態のブックを作成できます。

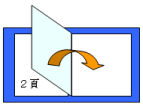
ブックの見開きの状態を設定します。

左・右開き共にページのめくりの方向を表しています。
見開き無しの場合は、１ページずつ表示されるビュワーとなります。

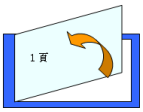
左開き



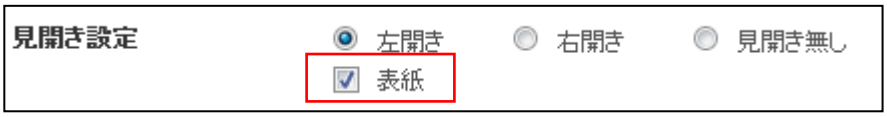
右開き



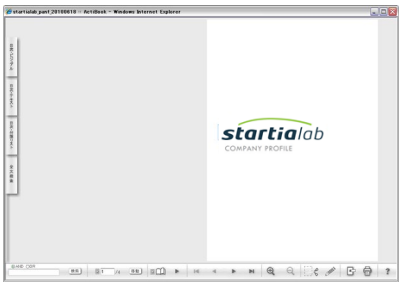
見開きなし



※　見開き無しの場合、めくり方向は左開きの設定になります。



- **表紙イメージのあり、無しを選択します。チェックボックスを外すと“表紙と裏表紙が無くなり”最初と最後のページが見開き表示になります。**

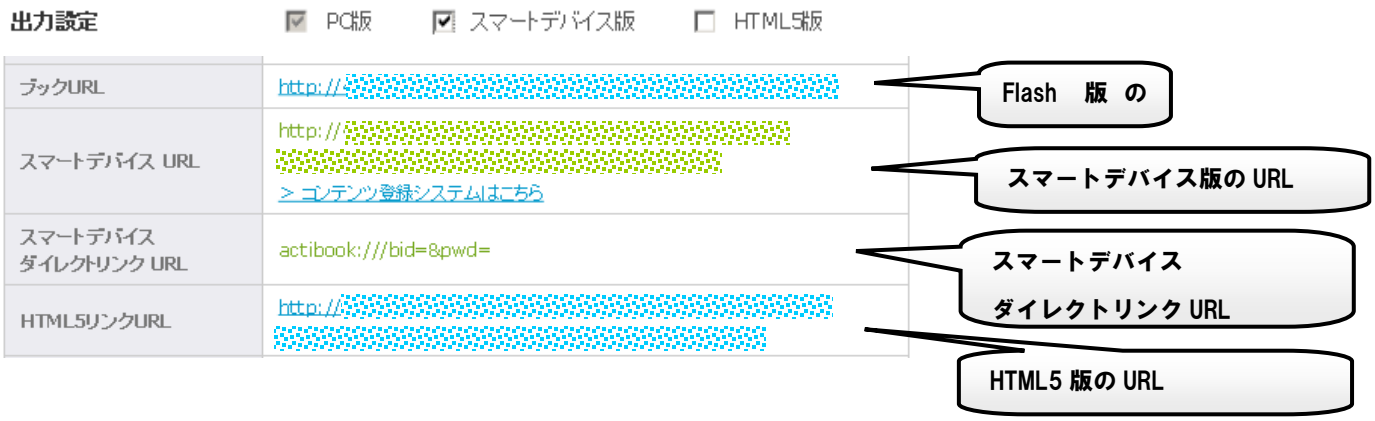


[表紙イメージあり]

[表紙・裏表紙なし]

6-6　④ 出力設定

コンテンツが、Flash 版、およびスマートデバイス版ビュワーに対応するか否かを設定します。



・Flash 版
WEB ブラウザで確認することのできる電子ブックへの URL を出力します。

・スマートデバイス版
Flash 版の出力と同時に、『コンテンツ登録システム』に登録が可能な URL を出力します。
URL 出力後、コンテンツ登録システムのリンクを使用し、システムにログインして URL を登録します。

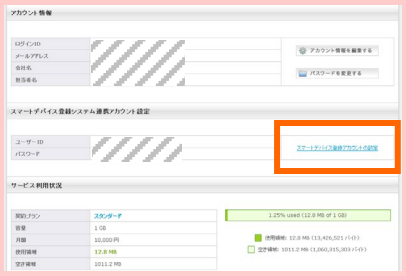
・HTML5 版
PC の WEB ブラウザで確認することができる、電子ブックへの URL を出力します。

「スマートデバイス版設定」について

ActiBook SaaS で出力したコンテンツを「コンテンツ登録システム」に自動登録する場合に扱います。

スマートデバイス登録の入力項目を有効にする場合には、「出力設定」の項目で

「スマートデバイス版」にチェックを入れてください。

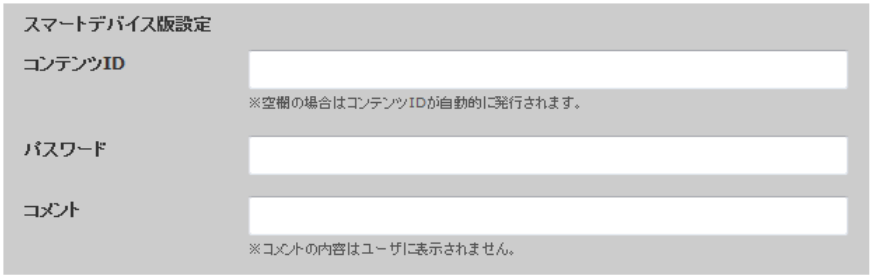


【初期設定】※ 初回のみ設定が必要です。

スマートデバイス登録の機能を使用する前に、ActiBook SaaS のアカウント管理画面にて「スマートデバイス登録アカウントの設定」を行ってください。

設定方法は次のページにて説明しています。 **⇒ P.85**

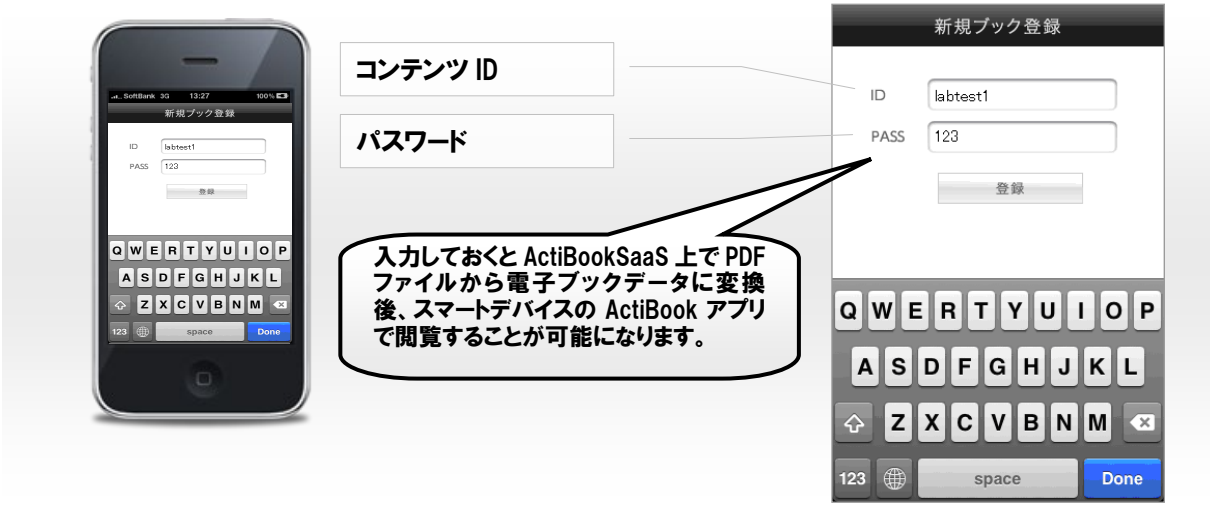
スマートデバイス登録アカウントの設定と、スマートデバイス版出力にチェックを入れると
以下のスマートデバイス登録の入力項目が使用可能になります。



- **コンテンツ ID**
  「スマートデバイス登録アカウントの設定」で設定したアカウントを使用し、コンテンツ登録システムに自動登録する
  コンテンツ ID を指定します。
  何も入力しない場合は、コンテンツ ID が自動的に発行され、自動登録されます。

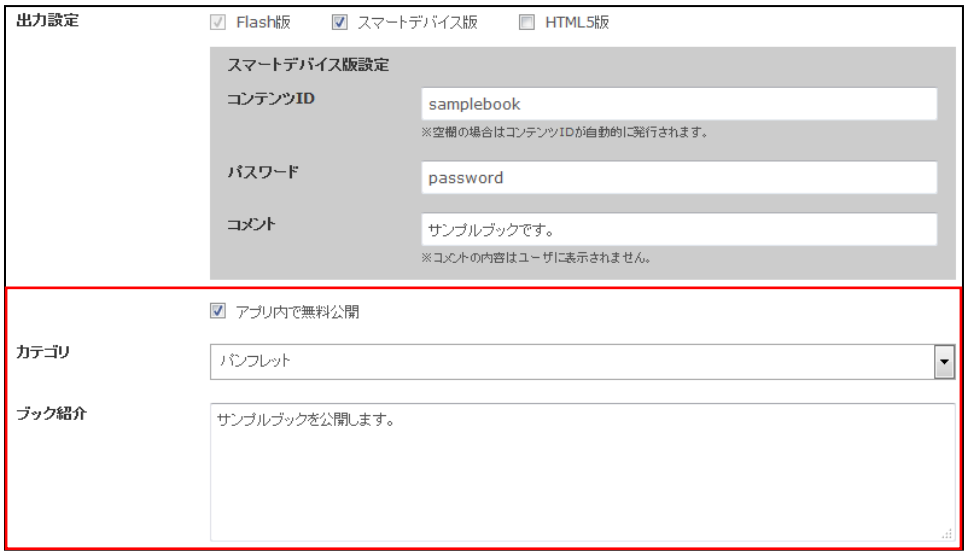
- **パスワード**
  上記のコンテンツ ID に連動するパスワードを入力します。

- **コメント**
  入力しておくと、コンテンツ登録システム上でコンテンツを管理する際にメモとしてテキストを残しておくことができます。



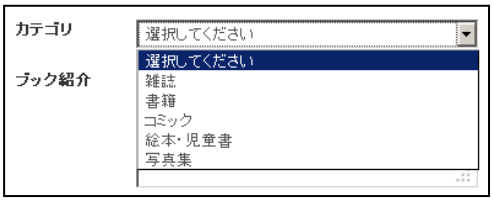
コンテンツ登録システムについては次のページを参考にしてください。　⇒ P.87

「アプリ内で無料公開」について



・アプリ内で無料公開
「アプリ内で無料公開」にチェックを入れる事で、メディアサイト（ActiBooks）、ActiBook アプリでブックを公開する事ができます。
チェックを入れる事でメディアサイトやアプリから、ブックのカテゴリ検索、会社名から検索を行う事が可能になります。
チェックを入れないと、対象のブックをメディアサイト、アプリで検索表示する事ができません。

※1 チェックを入れなくても、コンテンツ ID/パスワードを入力する事で、ブックの入手は可能です。
限定して公開したい場合には、チェックを入れず対象の方にコンテンツ ID/パスワードをお知らせください。
※2 コンテンツ登録サーバに登録される「公開会社名」はご契約時に登録された会社名となります。
「公開会社名」の変更および追加はできませんので、ご容赦下さい。



・カテゴリ
「カテゴリ」をクリックすると、プルダウンでカテゴリが表示されますので、ブックを登録したいカテゴリを選択してください。
※公開をする場合、カテゴリの選択は必須となっておりますのでご注意ください。
ここで選択したカテゴリは、アプリの「カテゴリから入手」をタップした際に、表示されるカテゴリと紐づいており、
アプリ側のカテゴリで検索する際の条件となっています。
※「公開会社名」と同じく「カテゴリ」名は、ユーザ側では変更および追加はできませんので、ご容赦ください。

・ブック紹介
ブックの紹介を設定します。
ブックの紹介文を入力してください。最大 1000 文字まで入力できます。
メディアサイト、アプリのブック詳細画面で表示されます。

6-7 ⑤ 現在の PDF ファイル

登録済みのコンテンツより、作成時に使用した PDF をダウンロードする事ができます。

以上で、「基本設定」部分の説明は終了です。

「詳細設定」にある項目について説明します。

6-8　⑥ Flash 版/HTML5 版拡大率設定

PDF ファイルで参照したファイルを 100%の画像とし、そこから 200%、300%、500%、700%と拡大した画像を出力し電子ブック上で段階的に拡大処理が行えるようにします。

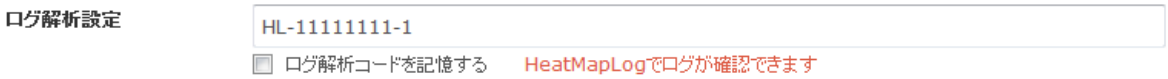
通常時　拡大率 100%　　２段階目　拡大率 200%　　３段階目　拡大率 300%.....

6-9　⑦ ログ解析設定

電子ブックにログ解析機能を付加します。

HeatMapLog でログ解析を行う場合は、HeatMapLog の解析コードが必要です。

ActiBook Analytics でログ解析を行う場合は Google アナリティクスのプロパティ ID が必要です。



上記の欄に HeatMapLog の解析コード、または Google アナリティクスのプロパティ ID を入力する事でログを出力する事ができます。

詳細は、
「HeatMapLog マニュアル」
「ActiBook Analytics 運用/操作マニュアル」
を参照下さい。

上記のチェックボックスにチェックを入れると、設定したプロパティ ID をシステムが記憶します。
システムが記憶したプロパティ ID は、新規コンテンツ登録時に自動入力されるようになります。

※HeatMapLog とは

ブックの閲覧数、ページビュー数、検索された単語を一覧で確認したり、

誌面上で拡大されている箇所などを視覚的に確認できる、弊社の web サービスとなります。

6-10　⑧ ペンツール設定

ビュワーの特殊な機能の一つとしてペンツールをご紹介させていただきます。
Flash 版の電子ブック上でペンツールのボタンを押下すると、以下の機能が有効になります。
スマートデバイス版においてもペンツールが有効になります。

【PC】

ペンツールをＯＮにすると、以下のツールを利用することができます。

ペンツールで使用できる機能は以下の通りです。

曲線	ページイメージ上にフリーハンドで描くことができる線を引くことができます。
直線	ページイメージ上に直線を描くことができる線を引くことができます。
線の太さ	ページイメージ上に引く線の太さを変更することができます。
色	ページイメージ上に引く線の色を変更することができます。
半透明	ページイメージ上に引く線を半透明に変更することができます。
消しゴム	ページイメージ上に引いた線を消去することができます。 消去の動作は、引いた線を１本ずつ消去していきます。
全消去	今まで描いた線を全て消去します。

ペンツールで描いた線は、一度ブックを閉じても記録されます。
記録はローカルＰＣ上に残りますので、他のＰＣから同じブックを閲覧した場合には描いた線を見ることはできません。

6-11　⑨ 検索設定

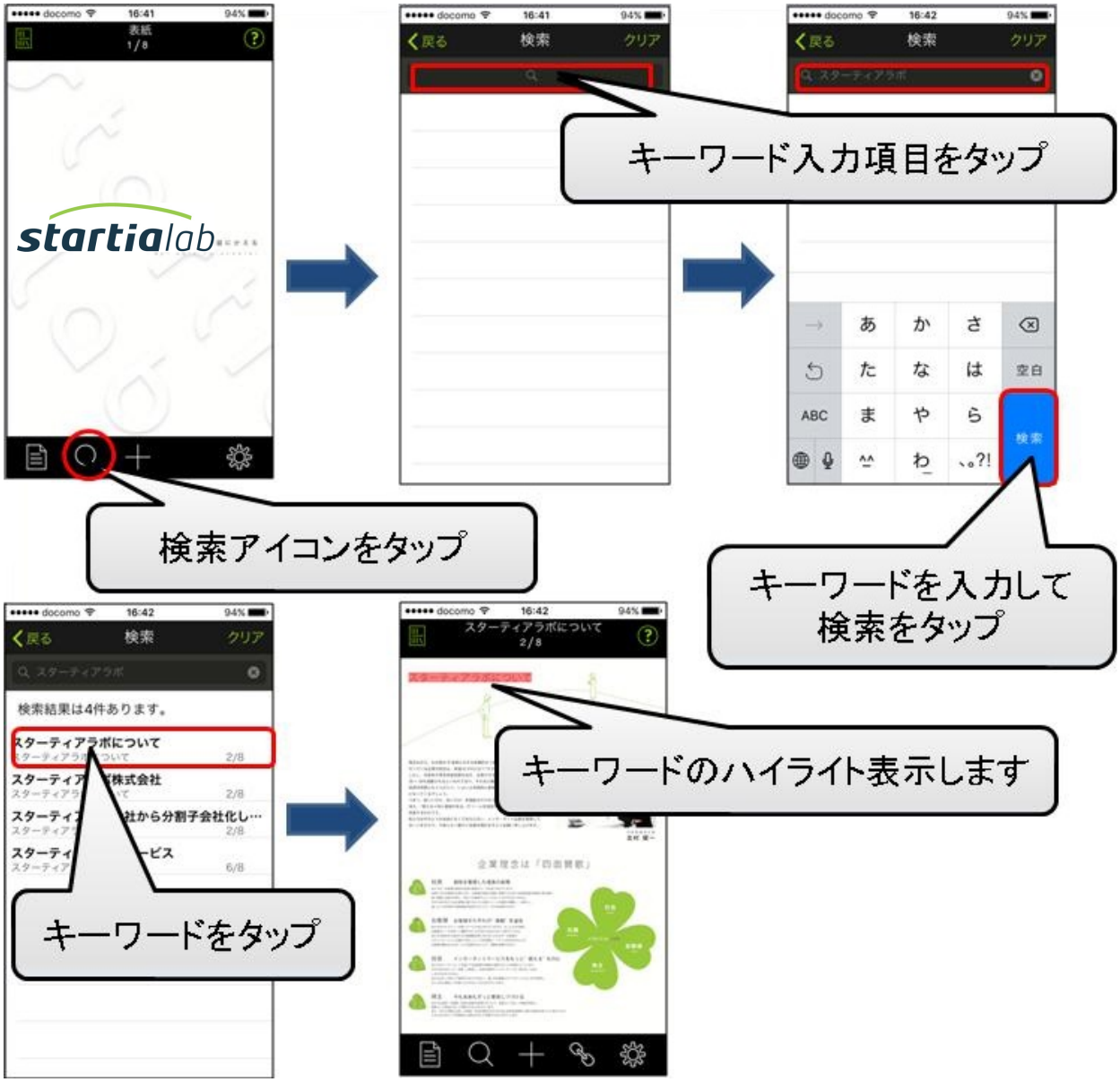
・　**テキストハイライト ON**
ブック内でテキスト検索を行った場合に、検索したテキストが“ハイライト表示”になります。

【Flash】

［テキストハイライト検索時］

【スマートデバイス】

検索機能はアプリ上では以下のように操作します。



テキストハイライト 注意事項

・PDF ファイルに“テキスト情報”及びフォント情報が正しく埋め込まれている必要があります。

・特にテキストが縦続きの場合、PDF ファイルの見た目通りにうまく文字を認識しない場合がございます。

・行単位でハイライトされますが、どこまでを 1 行として認識するかは PDF ファイルの構造によって異なります。

・テキスト及びフォント情報が正しく埋め込まれていても、文字の抜けが発生する可能性があります。
あらかじめご了承ください。

※ システムによるテキスト情報の取得方法については第三者団体である PDFLib 社より技術提供を受けております。

６-１２　⑩ 共有機能設定

ビュワーファイル上の特殊な機能の一つとして共有機能の紹介をさせていただきます。
共有機能には
・「マルチデバイス共有」
・「共有」
の種類があります。
こちらは、ご契約いただいているプランによって、使える機能が違います。

「マルチデバイス共有」とは、
PC、iOS、Android 端末間で閲覧しているブックとページを他のユーザーと共有する機能する機能です。

「共有機能」とは、PC 間の共有しかできませんが、
「ペンツール」で記述した線や、「付箋機能」で記述したテキストやリンク情報を他のユーザと共有する機能です。

【コンテンツ編集】画面

書き出されたコンテンツを確認すると「共有」機能が付加されています。

マルチデバイス共有・・・PC 端末、iOS 端末、Android 端末から、自分が閲覧中のブックと表示中のページを他の端末で開く事ができる URL を Facebook、Twitter、メールで共有する事ができます。
PC>スマートデバイス、スマートデバイス>PC、スマートデバイス>スマートデバイスなど端末間を越えた共有が可能です。
※マルチデバイス共有では、ペン、付箋の情報は共有できません。
※マルチデバイス共有機能を利用する為には、閲覧者のスマートデバイスに ver7.0.0 以降の ActiBook アプリがインストールされている必要があります（iOS/Android 共通）

・共有方法について
「シェア」「Facebook」・・・Facebook に閲覧中のブックとページを共有できる URL を貼り付けます。
iOS、Android 端末で共有を行うには、Facebook アプリ側で ActiBook アプリの認証を行う必要があります。

「ツイート」「Twitter」・・・Twitter に閲覧中のブックとページを共有できる URL を貼り付けます。

「メールで共有」「メール」・・・メールに閲覧中のブックとページを共有できる URL を貼り付けます。

「COPY」・・・閲覧中のブックとページを共有できる URL をクリップボードに貼り付けます。

Flash 版

スマートデバイス版

・PC 端末から Facebook で共有を行った場合

Step.1
「シェア」ボタンをクリックすると、投稿画面が表示されます。

Step.2
「リンクをシェア」ボタンをタップする事で、Facebook に投稿が行われます。

Step.3
Facebook に投稿後、投稿画面の表示が消え元の画面に戻ります。

・PC 端末から Twitter で共有を行った場合

Step.1

「ツイート」ボタンをクリックすると、投稿画面が表示されます。

Step.2

「ツイート」ボタンをクリックする事で、Twitter にブック共有 URL のツイートが行われます。

Step.3

ツイート後、Twitter の画面が表示されます。

先ほどまで閲覧していたブックは別のウィンドウで表示されていますので、ブックの閲覧を続ける際にはブックを開いていた別のウィンドウを表示してください。

・PC 端末からメールで共有を行った場合

Step.1

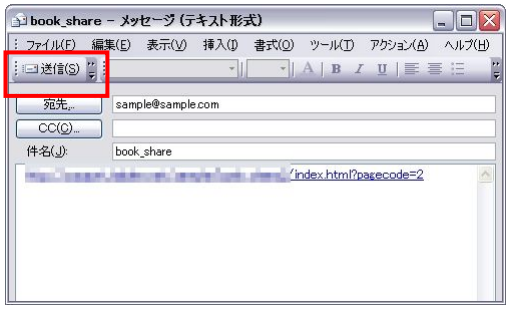
「メール」ボタンをクリックすると、メーラーが立ち上がります。

Step.2

メールの本文にブックの共有を行える URL が貼り付けられています。

「送信」ボタンをクリックする事で、宛先に設定したアドレスメールが送られます。

※標準で使う設定をしているメーラーにより、送信ボタンの名称は変わります。



・iOS 端末から Facebook で共有を行った場合（Android 端末はこの操作の必要はありません）

初回だけ Facebook 側より認証が求められる場合があります。
これは Facebook より、ActiBook アプリを稼動させるために必要な処理となります。
※ios6.0 以降且つ ios 端末本体の設定より、Facebook にログインが行われていれば認証の必要はありません。

Step.1
「FaceBook」ボタンをタップすると、アプリ認証画面が表示されるので「ログイン」ボタンをタップします。
「ログイン」ボタンをタップする事で、アプリの認証が完了します。

Step.2

アプリの認証が完了すると、投稿画面が表示されます。

「シェア」ボタンをタップする事で、Facebook に投稿が行われます。

投稿完了後は投稿画面が消え、閲覧していたページの画面に戻ります。

・スマートデバイス（iOS/Android 共有）から Twitter で共有を行った場合

「Twitter」ボタンをタップすると、ツイート画面がポップアップで表示されます。
「送信」ボタンをタップする事で、ブックを共有できる URL のツイートが行われます。
ツイート完了後はツイート画面が消え、閲覧していたページの画面に戻ります。

・スマートデバイス（iOS/Android 共有）からメールで共有を行った場合

「メール」ボタンをタップすると、メーラーが立ち上がります。
「送信」ボタンをタップする事で、ブックを共有できる URL をメールで宛先に送ります。
メール送信後はメーラーが立ち上がったままになりますので、再度 ActiBook を起動してください。

・共有されたブックの開き方について

Facebook で投稿された画面の場合
（下図は Flash 版の画像です、閲覧している端末により画面構成は変わります。）

Step.1
PC ブラウザの Facebook の画面、またはスマートデバイスの Facebook アプリより、共有された投稿内の
「ブックタイトル」または、サムネイルをクリックします。

Step2.
「ブックタイトル」またはサムネイルをクリックするとブラウザが起動し、共有されたブックを開くための
インデックス画面が表示されます。
「ブックを開く」をクリックする事で、閲覧している端末で共有されたブックとページを開く事ができます。

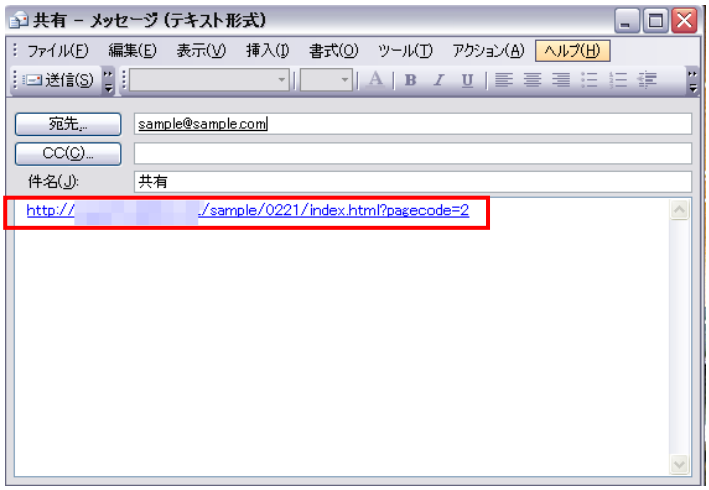
Twitter で投稿された画面の場合
（下図は FLASH 版の画像です、閲覧している端末により画面構成は変わります。）

Step.1
PC ブラウザの Twitter の画面、またはスマートデバイスの Twitter アプリより、共有されたブックの URL をクリックします。

Step2.
共有が行われた URL をクリックするとブラウザが起動し、共有されたブックを開く事ができるインデックス画面が表示されます。
「ブックを開く」をクリックする事で、閲覧している端末で共有されたブックとページを開く事ができます。

メールで投稿された画面の場合
（下図は Flash 版の画像です、閲覧している端末により画面構成は変わります。）

Step.1
PC のメーラーで受信したメール、またはスマートデバイスで受信したメール画面より、
共有されたブックの URL をクリックします。



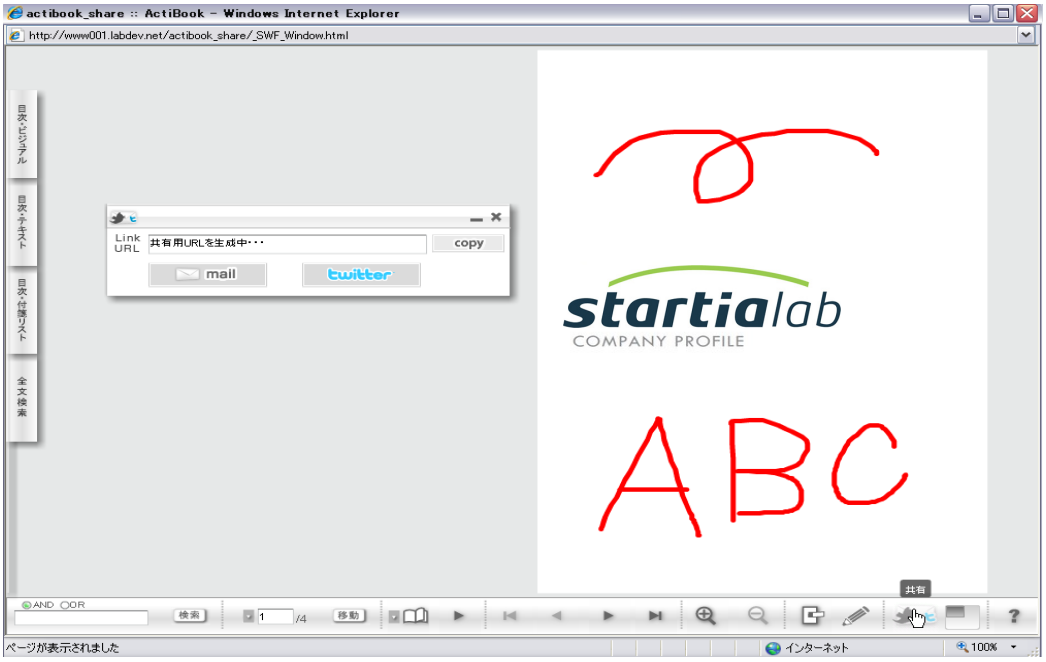
Step2.
共有された URL がクリックされるとブラウザが起動し、共有されたブックを開く事ができるインデックス画面が表示されます。
「ブックを開く」をクリックする事で、閲覧している端末で共有されたブックとページを開く事ができます。

以上でマルチデバイスの共有方法についての解説は終了です。

共有機能・・・PC 端末間で、自分が閲覧中のブックと表示中のページを開く事ができる URL を Twitter、メールで共有する事ができます。
共有機能ではペンの書き込み、付箋の情報を共有する事ができます。

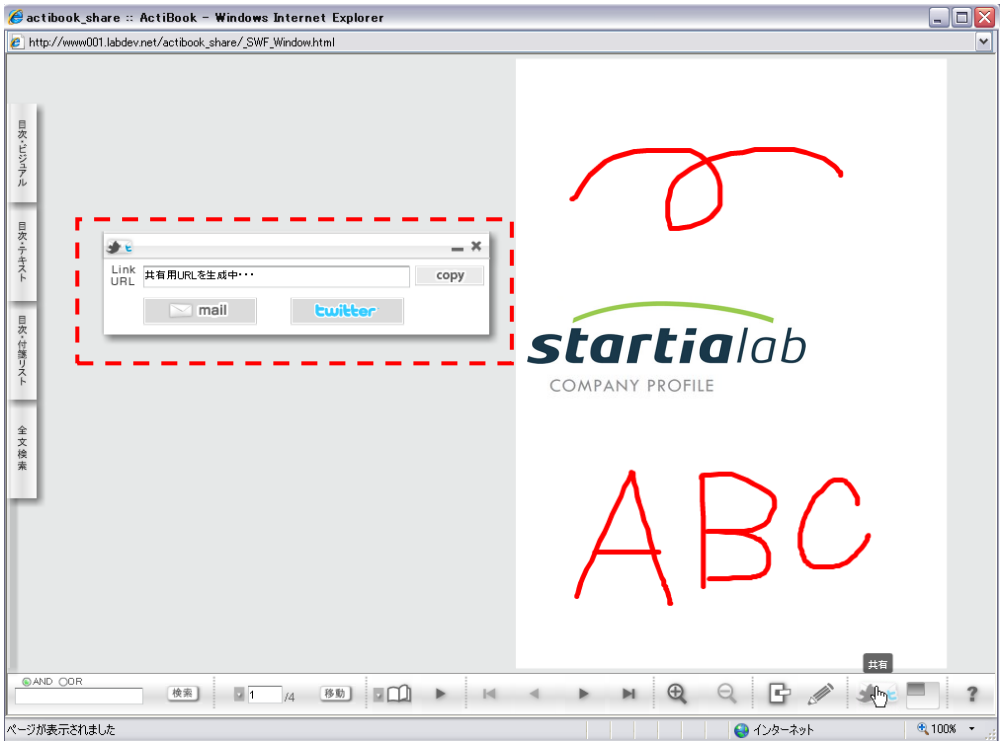
Step.1　設定が完了したコンテンツにアクセスします。

「ペンツール」と「付箋」機能を使用して書き込みを行います。



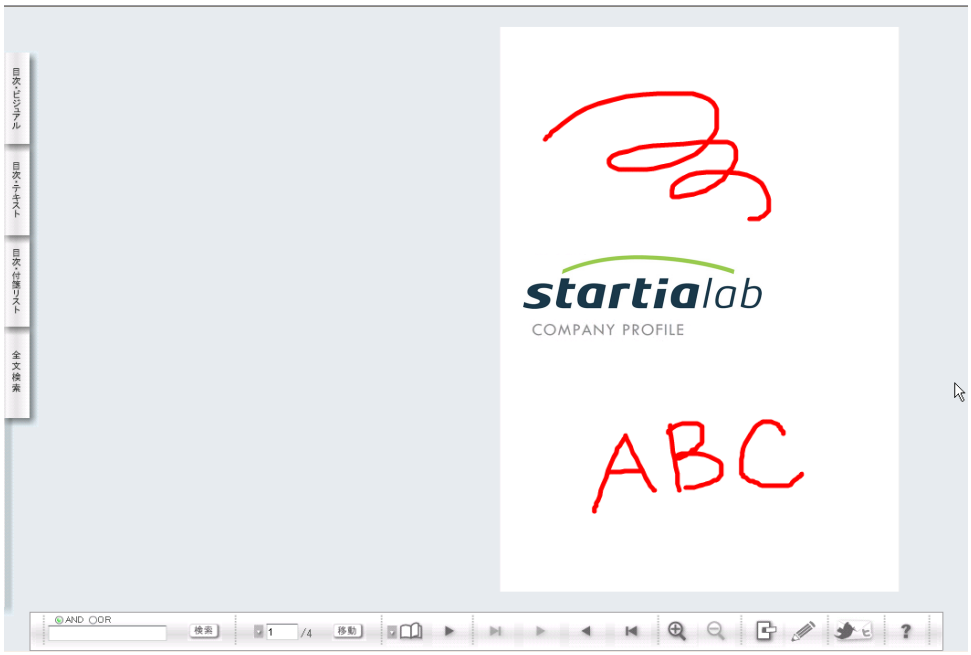
Step.2　書き込みを行った後、共有ボタンをクリックします。

共有ツール BOX が表示され「共有用 URL を生成中・・」のテキストが表示されます。



Step.3　URL が発行されるまで、しばらく待ちます。（書き込み量によっては 1～2 分程度かかります。）

出力された URL をコピーしてメールに添付し、送信するか
Twitter ボタンにて Twitter にログインし、“URL” をつぶやくことで URL を受け取った利用者と
「ペンツールや付箋で書き込みを行ったブック」の情報を共有することができます。

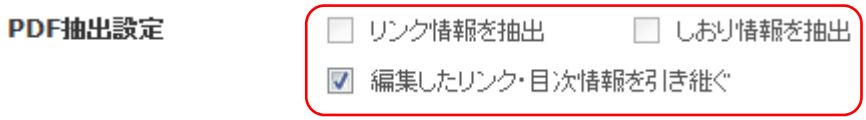


共有ボタンをクリックしたタイミングで「現在開いているページ」を元にURLを生成しますので
複数ページに渡って書き込みを行った情報を他者と共有する場合には、“現在開いているページ“にも注意して
ご使用いただけますと、より便利にご利用いただけます。

以上で共有機能の説明は終了です。

６－１３　⑪ PDF 抽出設定

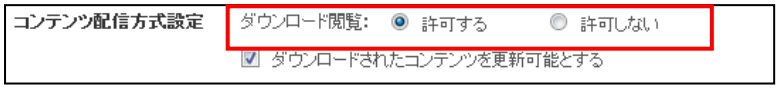
PDF ファイル内のハイパーリンク、しおりを抽出してビューア内のリンク、目次として設定します。



リンク情報を抽出	チェックオン：PDF ファイルを作成した際に設定されたハイパーリンクの情報を読取ります。読込まれたリンクはビュワーの該当ページに自動的に設置されます。 チェックオフ：PDF ファイルのハイパーリンクの情報を読取らず、前回更新までのリンク情報が消去されます。
しおり情報を抽出	チェックオン：PDF ファイルを作成した際に設定された「しおり」の情報を読取ります。読込まれたしおりはビュワーの該当ページに自動的に設置され「目次」として使用します。 チェックオフ：PDF ファイルのしおり情報を読取らず、前回更新までの目次が消去されます。
編集したリンク・目次情報を引き継ぐ	コンテンツの開き方向やリンク情報を編集したのち、 再度コンテンツを更新するとリンク情報、目次情報が失われていましたが 「編集したリンク・目次情報を引き継ぐ」にチェックを入れた状態で更新をするとリンクと目次の情報を残した状態でコンテンツを更新することができます。

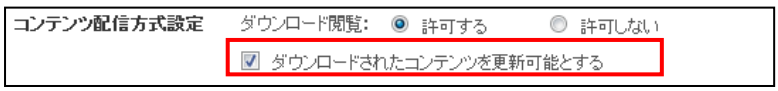
６-１４　⑫ コンテンツ配信方式設定

スマートデバイス用コンテンツを書き出しした場合、コンテンツをダウンロード形式かストリーム形式のどちらで配信するかを設定します。



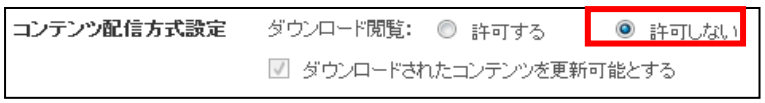
「ブックのダウンロード閲覧」で「許可する」を選選択すると
バックグラウンドでブック情報をダウンロードしながら
ブックを見ることができます。

ダウンロード後はブックがアプリ上の「本棚」に並び、
インターネット回線が無くとも
ブックを閲覧することができるようになります。
その際、左図のようなダイアログがポップアップ表示されます。



また「ダウンロードされたコンテンツを更新可能とする」
にチェックが入っているブックは、ブック情報がダウンロードされた後、
SaaS 上のブック情報が更新された場合に、ブック情報を最新の情報に
保とうと(ブックを選択したタイミングで)通信を行い、最新のブック情報を
取得することができます。

※『コンテンツ登録システム』でブック ID が削除されているブックは
閲覧できなくなります。



「ブックのダウンロード閲覧」で「許可しない」を選択すると
閲覧のたびに毎回サーバーからブック情報の取得を行います。
常に情報を読者様に提供することができます。
頻繁に内容が更新されるブックや、期間限定のブック公開などにご利用ください。

※端末がオフラインの場合はブックの閲覧が出来ません。

６-１５　⑬ オプション機能

Flash 版ブックの機能を設定します。

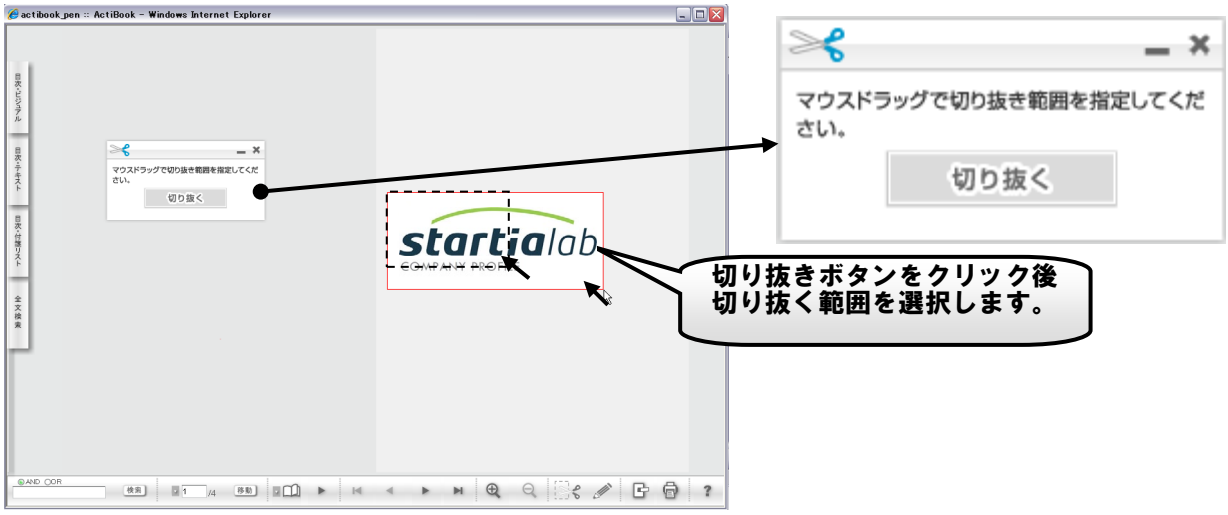
・Flash 版陰影設定
　左右のページの中央（のど）の部分に影が付きます。

［本の中央に影をつけた場合］

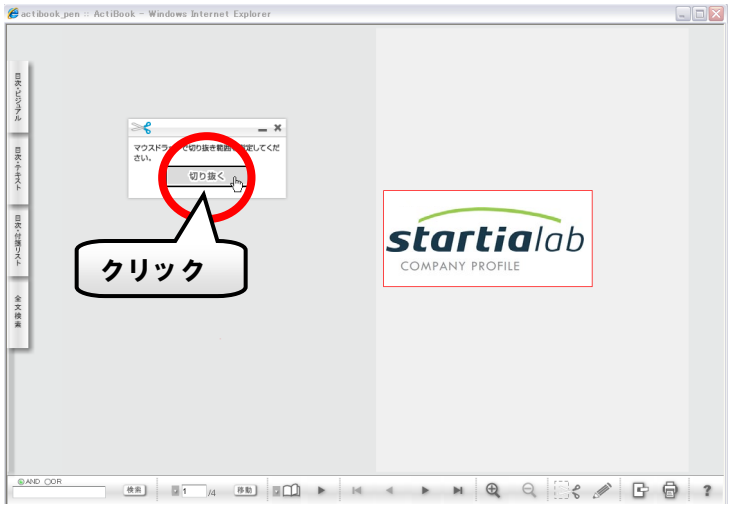
［本の中央に影をつけない場合］

・ 切り抜き
　誌面上の画像を切り抜いて保存する事ができます。

電子ブック上で「切り抜き」ボタンを押下すると、ページイメージにフィルターがかかり
切り抜きを行う範囲を指定するモードに切り替わります。



切り抜き範囲の選択を終えたら、「切り抜き」ボタンを選択します。



「切り抜く」ボタンを押下すると、任意のフォルダに切り出した画像を保存することができます。
切り抜き機能の説明は以上です。

6-16　⑭ インフォメーション設定

任意のテキストとＵＲＬを設定すると、電子ブック起動後のウィンドウ左上にリンクを設定することができます。
設定したテキストをクリックすると、別ウィンドウで URL が開かれます。

- **変換用 PDF へのリンクを URL に設定する**

  変換に利用した PDF が Flash 版からダウンロードが出来ます。

Digit@Link ActiBook

リンク/目次機能の操作

7　リンク/目次機能の追加

作成を終えたコンテンツに「リンク/目次機能」を付加します。
リンク機能は各電子ブックのページ毎に範囲指定とハイパーリンクの指定を行います。
目次機能は、ページ毎に設定し、作成した目次タイトルをクリックすると該当のページに遷移します。
設定したリンク/目次は PC 及びスマートデバイスのコンテンツに反映されます。

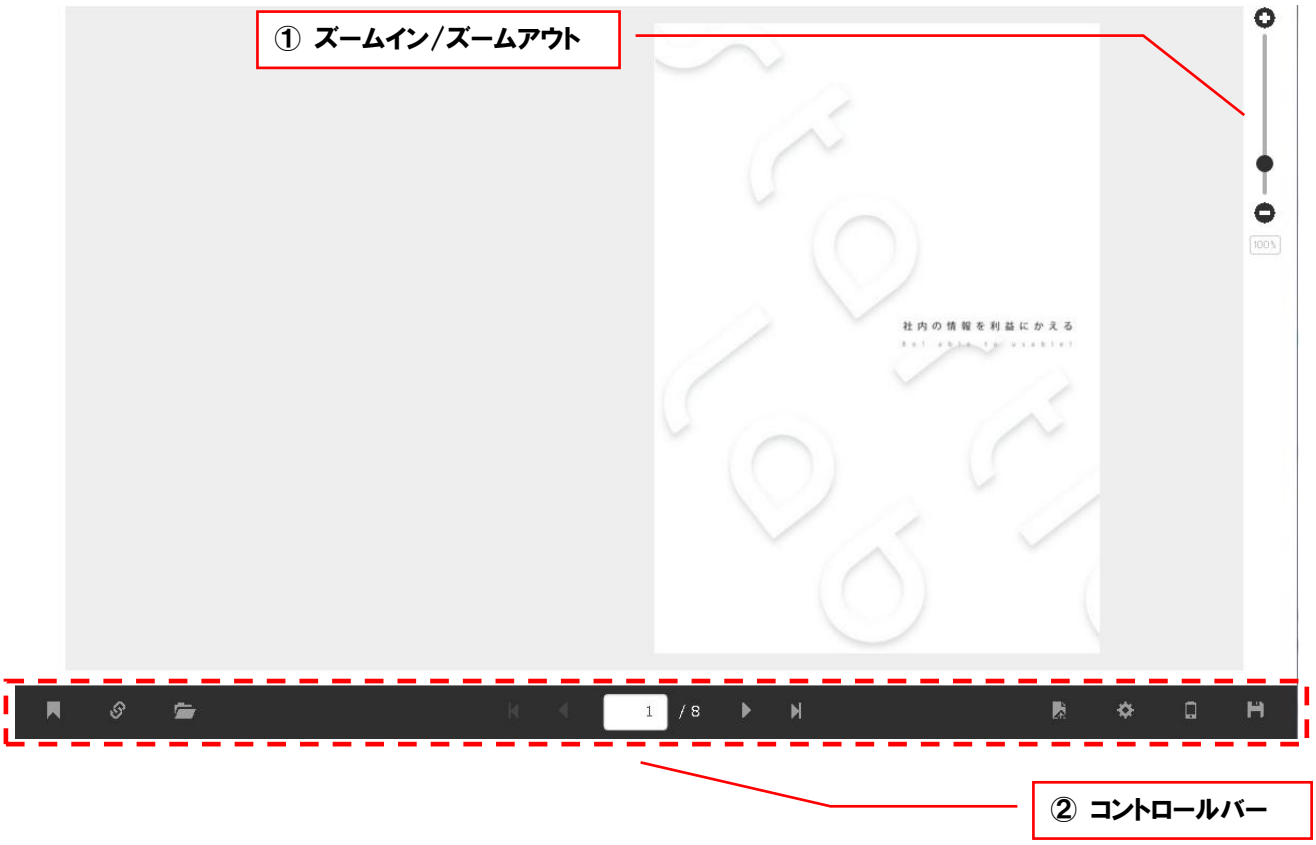
7-1　ブックカスタマイズの設定方法に関して

Step1. コンテンツ一覧画面を表示し、「ブックタイトル」もしくは「更新ボタン」をクリックします。

Step2. リンク/目次の作成・編集リンクをクリックします。

7－2　リンク/目次編集ウィンドウの使用方法

リンクを追加するための編集ウィンドウの各機能を説明します。



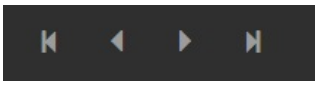
① ズームイン/ズームアウト

つまみをドラッグ＆ドロップ操作で上下することで、編集ウィンドウ内の表示を拡大/縮小表示することができます。

つまみを上に操作すると画面を拡大、下に操作すると画面を縮小表示します。

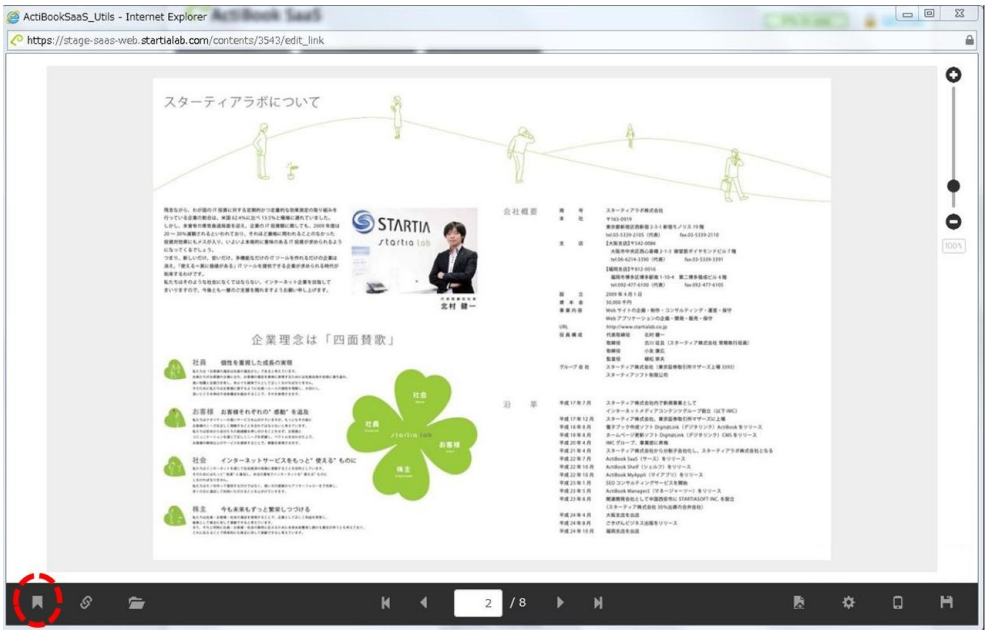
②　コントロールバー

コントロールバー　メニュー【一覧】

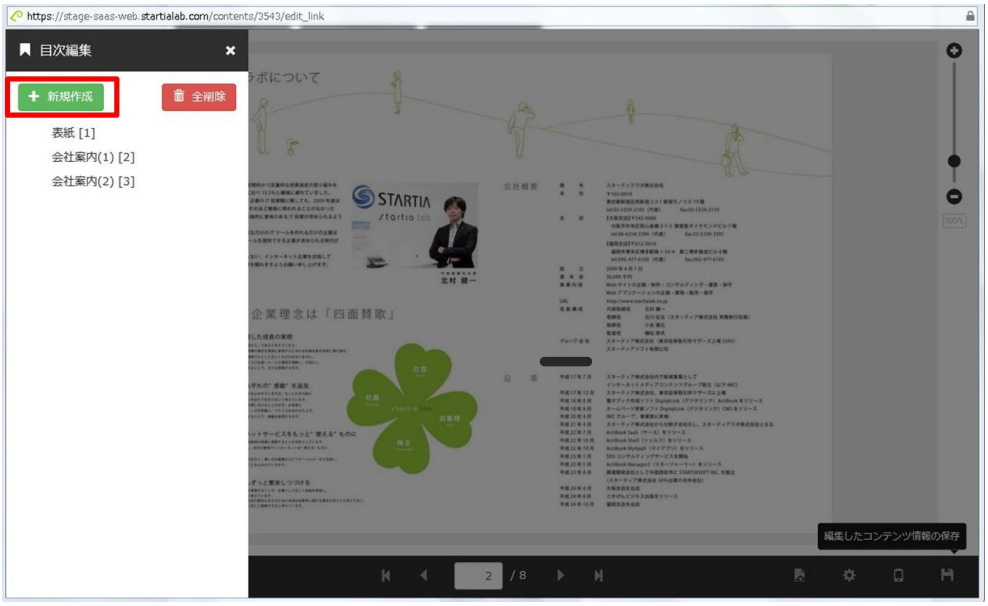
目次編集		PC、スマートデバイス向け目次リストの編集を行います。
ページ移動		ノンブルを指定することができ、該当のページに移動できます。
リンク生成モード切り替え		マウスのドラッグ＆ドロップ操作で範囲指定を行い、ページにハイパーリンクを設置します。
ページめくり		次のページ、前のページ、最初・最後のページと、現在表示しているページを操作します。
ファイルマネージャー		音声、動画のメディアファイルを SaaS システムにアップロードします。
リンク CSV 設定		作成したリンク情報の出力、読み込みを行う事ができます。
FLASH 版ボタングループマネージャの表示		表示されているページめくりボタンやペン・切り取り・印刷ボタンなどのボタングループのレイアウトを変更します。
スマートデバイス共通出力プロパティ設定		スマートデバイスで共通して設定する項目を表示します。現在は明滅するリンクの色を設定できます。
編集したリンク情報の保存		編集を終えたリンク情報をサーバ上のコンテンツ反映します。

7－3　目次編集モードの切り替え

Step.1 コントロールバーの目次編集アイコンをクリックして、目次編集エリアを表示します。



Step2. 目次編集メニューを操作し、新しい目次を作成します。



Step3. 作成した目次を右クリックし、目次のタイトルを編集します。

Step4. リンク先ページ番号(ゼロ指定でリンク無し設定)を設定します。

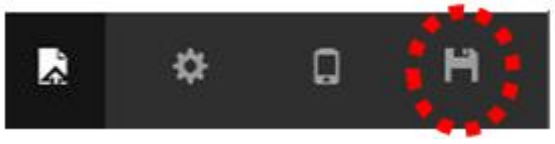
リンク先ページ番号 ＝ ノンブルで、目次を選択された時に遷移するページ番号を指定します。
リンク無し目次 ＝ 目次として選択してもページ遷移しない目次で、主に階層目次の“分類”に使用します。

Step5.「編集を適用」ボタンをクリックして目次を更新します。

目次タイトルの右側に表示されている数字はページ番号です。

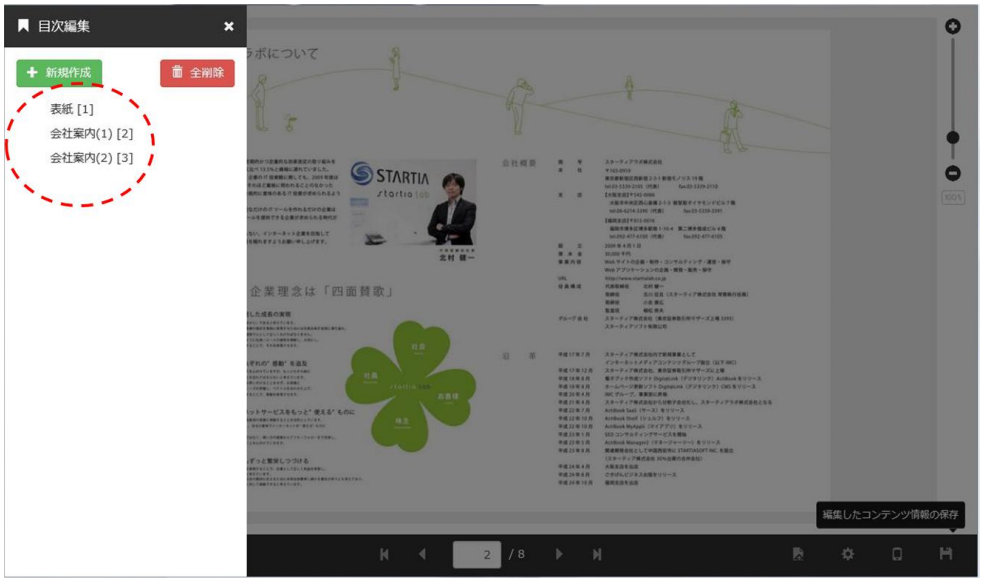
Step6. 上記までの操作を行い、目次を作成します。
※作成した目次は、目次の項目をドラックすることで順番の入れ替えが可能です。

Step7. 作業後にコントロールバーの [編集したコンテンツ情報の保存] アイコンをクリックし作業を保存します。



コンテンツ情報の保存後、設定した目次は以下のように表示されます。

【PC】



【スマートデバイス】

７-４　ファイルマネージャーにて音声/動画ファイルをアップロード

「動画リンク」「音声リンク」「誌面動画埋め込み」で再生させるファイルを指定するには、事前にファイルマネージャー経由でメディアファイルをアップロードする必要があります。

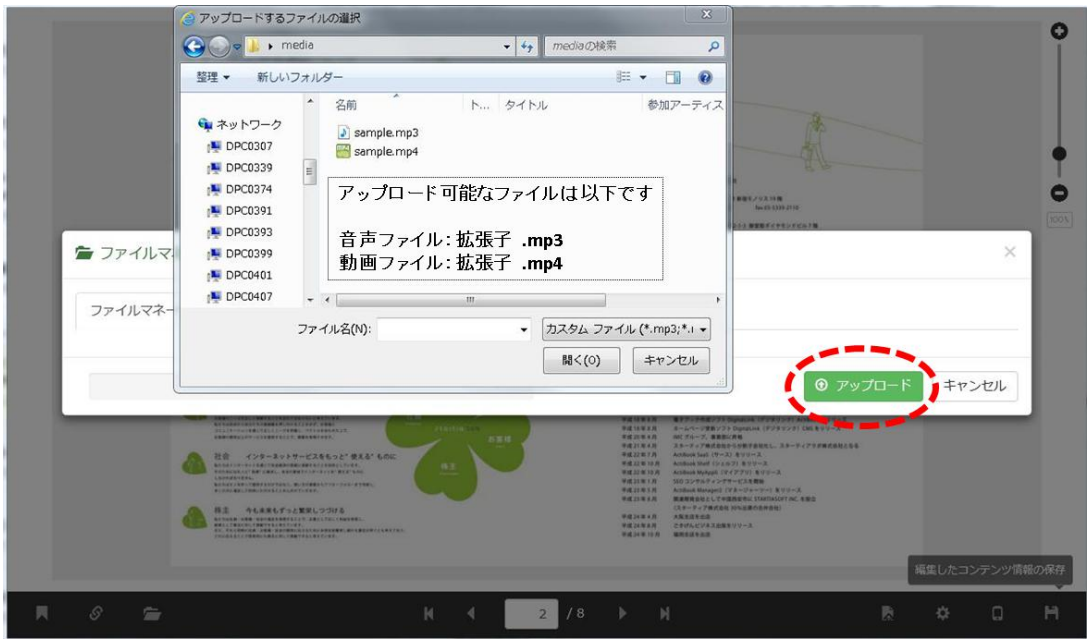
対応可能なメディアファイルは拡張子 mp4（動画）と mp3（音声）です。

※　アップロード可能なファイルサイズは 50MB までとなっています。

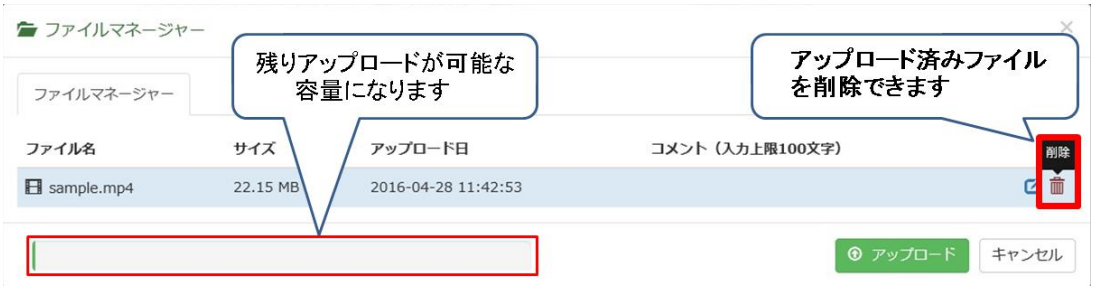
※　動画ファイルはファイルリンク、誌面動画埋め込み、音声ファイルは Flash 版/スマートデバイス版両方のファイルリンクでお使い頂けます。詳しくは 53 ページをご参照下さい。

Step.1 コントロールバーのファイルマネージャーアイコンをクリックして、ファイルマネージャーを表示します。

Step2. アップロードファイル参照をクリックし、音声/動画ファイルを選択してアップロードします。



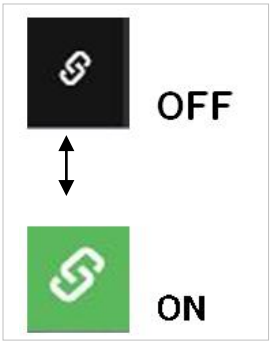
Step3.アップロードが完了すれば、アップロード済みファイルがリストに表示されます。



7－5　リンク生成モードの切り替え

Step1. リンクを追加したいページを「ページめくり」ボタンで移動し、リンク生成モードに切り替えます。

Step2. 「リンク生成モード」ボタンをクリックし、リンクを追加するモードに切り替えます。



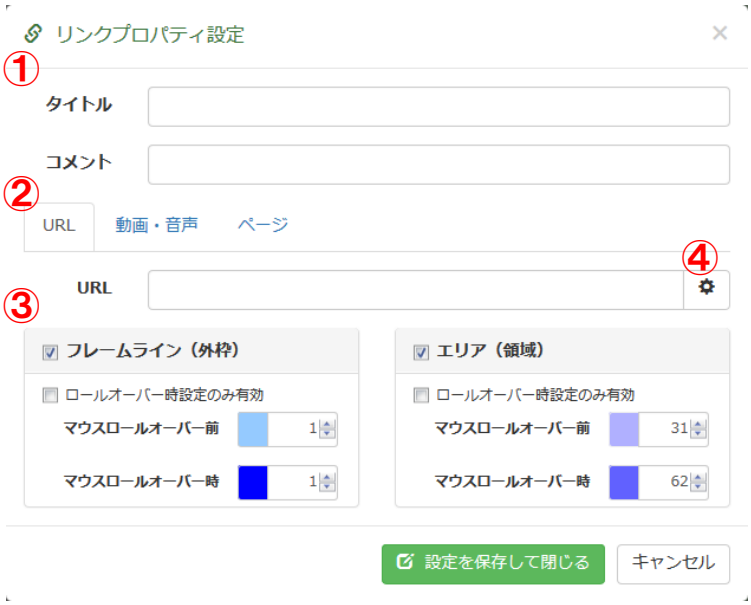
Step3. リンクを追加したい領域をマウスのドラッグ＆ドロップ操作にて選択します。

Step 4. 範囲指定を終えると、リンクプロパティの設定ウィンドウが表示されます。

7-6　リンクプロパティの設定

リンクプロパティの設定ウィンドウの各項目の説明を行います。

リンク領域を設定後、下図の様なリンク設定ダイアログが表示されます。



① タイトル/コメント

マウスポインタがリンクに触れた時（マウスオーバー時）にタイトルやコメントを表示するかどうかを指定します。
※スマートデバイス版ではコメントは表示されません。

② URL/動画・音声/ページリンク

リンクをクリックした時に以下のいずれかの挙動を設定します。
- **設定したＵＲＬに遷移**
- **動画・音声を再生**
- **誌面上に動画を埋め込み**
- **任意のページへ移動**

③ フレームライン（外枠）/エリア（領域）

FLASH 版ビュワーのマウスオーバー時のリンクのボーダーの色や太さを調整します。

※スマートデバイス版では、この設定内容は無視されます。スマートデバイス版でのリンクの表示色は、64ページの「スマートデバイス版共通出力プロパティ設定」をご参照下さい。

④ 表示ウィンドウ設定

リンクが選択された時の表示ウィンドウの動作を設定します。

- **設定を保存して閉じる**

  リンクプロパティの設定を保存してダイアログを閉じます

- **キャンセル**

  設定を保存せずにダイアログを閉じます

※　次のページより、リンクの設定を詳細に説明します。

① タイトル/コメント

タイトル/コメントの設定を行います。

・タイトル及びコメント
タイトル及びコメントはビュワー上では下図の様に表示されます。上段のテキストがタイトル、下段のテキストがコメントとなります。両テキストとも表示幅に収まらない場合はテロップの様に右から左にテキストがスクロールして表示されます。

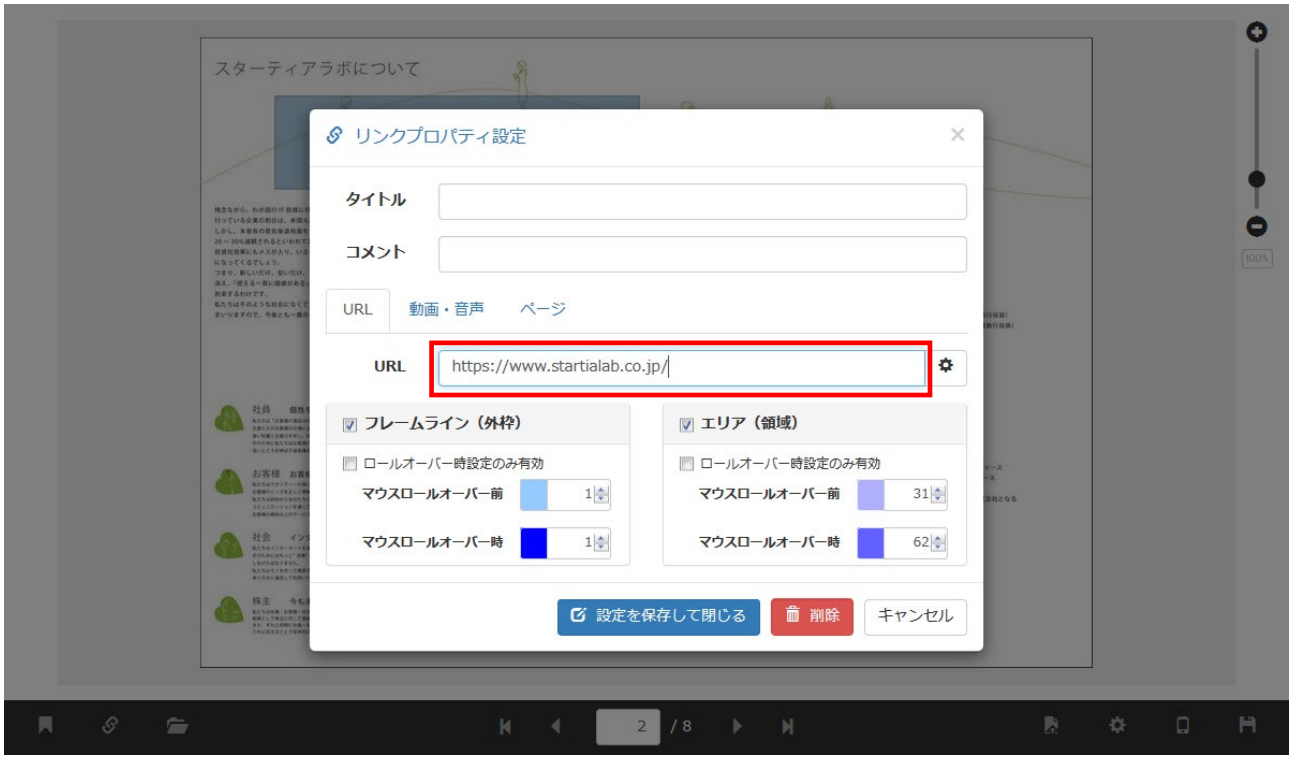
また、タイトル及びコメントに何も入力しないと、ポップアップが非表示になります。

スマートデバイスでは、タイトルは次のように表示されます。（コメントは表示されません）

② URL/ 動画・音声/ ページ

・URL

ビュワー上でリンクがクリックされた際の飛び先 URL を指定します。



・**動画・音声**

ビュワー上でリンクがクリックされた際に再生させる動画・音声ファイルを指定します。

指定できる動画ファイルは mp4、音声ファイルは mp3 形式となります。

※音声を再生した場合は、音声の再生のみ行われ、プレイヤーのボタンなどは表示されません。

リンクをクリックされた場合、端末内のプレイヤーが起動し動画の再生が行われます。

・ページに埋込むにチェックを入れた場合、誌面上で動画の再生が行われます。

ページに埋込む・・・誌面上の指定したリンク範囲内に動画を埋め込みます。

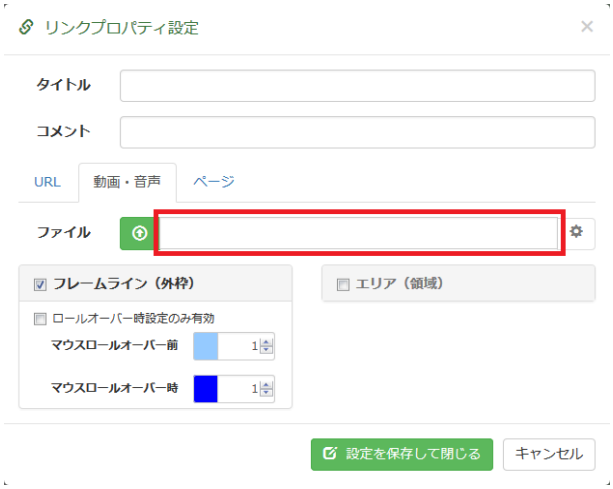
自動再生・・・・・・ページを開いた瞬間から、動画の自動再生を始めます。

ボタンバー表示・・・誌面上に埋め込んだ動画に再生ボタンなど、プレイヤーのボタンを表示します。

・メディアファイルの指定方法について

Step.1

「動画・音声」の項目より「ファイル欄」をクリックします。



Step.2

プルダウンの一覧からメディアファイルをクリックします。

※ファイル欄に文字を入力することで、メディアファイルの検索も可能です。（大文字英字不可）

補足

メディアファイルを選択するためには、予めファイルマネージャーからアップロードするか、

下記のアイコン部分からファイルを選択してアップロードします。

・ページ

ビュワー上でリンクがクリックされた際の移動するブック内のページ番号を指定します。

・リンクの色について

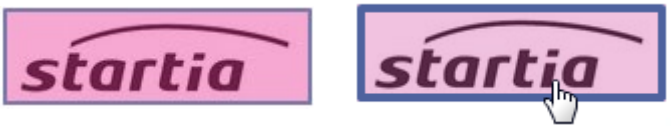
リンク対象としてリンクが選択されていない場合は、リンク編集ウィンドウ上では緑色で表示されます。
リンク対象としてリンクが選択されている場合は、リンク編集ウィンドウ上では青色で表示されます。

③ フレームライン（外枠） / エリア（領域）

リンクの Flash 版ビュワー上での見せ方の設定を行います。
※スマートデバイス版では、この設定内容は無視されます。スマートデバイス版でのリンクの表示色は、64 ページの「スマートデバイス版共通出力プロパティ設定」をご参照下さい。

・フレームライン
外枠ラインの表示、表示設定をします。
（下図はフレームライン☑と、フレームライン☐）

・マウスロールオーバー前ライン太さ及び、
マウスロールオーバー時ライン太さ
マウスポインタがオーバー前と、オーバー時でのラインの
フレームラインの太さを設定します。
（下図はオーバー前とオーバー時）



・エリア
領域内の色を設定します。
「Alpha（値）：」のバーをスライドする事で
透過度を指定できます。

・マウスロールオーバー前カラー及び、
マウスロールオーバー時カラー
マウスポインタがオーバー前と、オーバー時でのエリアの
色及び透過度を設定します。
（下図はオーバー前とオーバー時）

・ロールオーバー時設定のみ有効
ロールオーバー時設定のみ有効にチェックを入れるとマウスオーバー前の設定は表示されず、フレームラインなら非表示に、エリアなら透明度 100%となります。マウスポインタがオーバーして初めて表示される設定となります。

④ 表示ウィンドウ設定

リンク対象が、URL リンクだった場合、下記グループボックスが表示されます。

Flash 版リンク先ポップアップウィンドウ設定

・デフォルト
Flash 版の電子ブックの場合、ブラウザをデフォルトの状態でリンクを開きます。

・フルスクリーン
Flash 版の電子ブックの場合、ブラウザをフルスクリーン表示でリンクを開きます。

スマートデバイス版ビュワーURL リンク設定

・アプリ内ブラウザで開く
スマートデバイス版の電子ブックの場合、ActiBook アプリ内ブラウザでリンク開きます。

・外部ブラウザブラウザで開く
スマートデバイス版の電子ブックの場合、Safari、Android 端末既定のブラウザなど外部ブラウザでリンク開きます。

7-7　スマートデバイス版共通出力プロパティ設定

スマートデバイスで共通して設定する項目を表示します。現在は明滅するリンクの色と回数を設定できます。

Step1.「スマートデバイス版共通出力プロパティ設定」ボタンをクリックし、設定ウィンドウを表示します。

Step2.「紙面上リンクカラー設定」「紙面上リンク表示時明滅回数」を設定後、「設定を保存して閉じる」をクリックして下さい。

・紙面上リンクカラー設定
スマートデバイス版の電子ブックを閲覧した際に、リンクがある箇所が明滅する色をカラーパレットから選択できます。

・紙面上リンク表示時明滅回数
スマートデバイス版の電子ブックを閲覧した際に、リンクがある箇所が明滅する回数を設定できます。
※各リンクの明滅回数、リンク色を設定することはできません。全リンク共通の設定になります。

7－8　リンク設定の削除

リンク情報を削除する方法は、以下の 2 通りになります。

【リンクの削除】

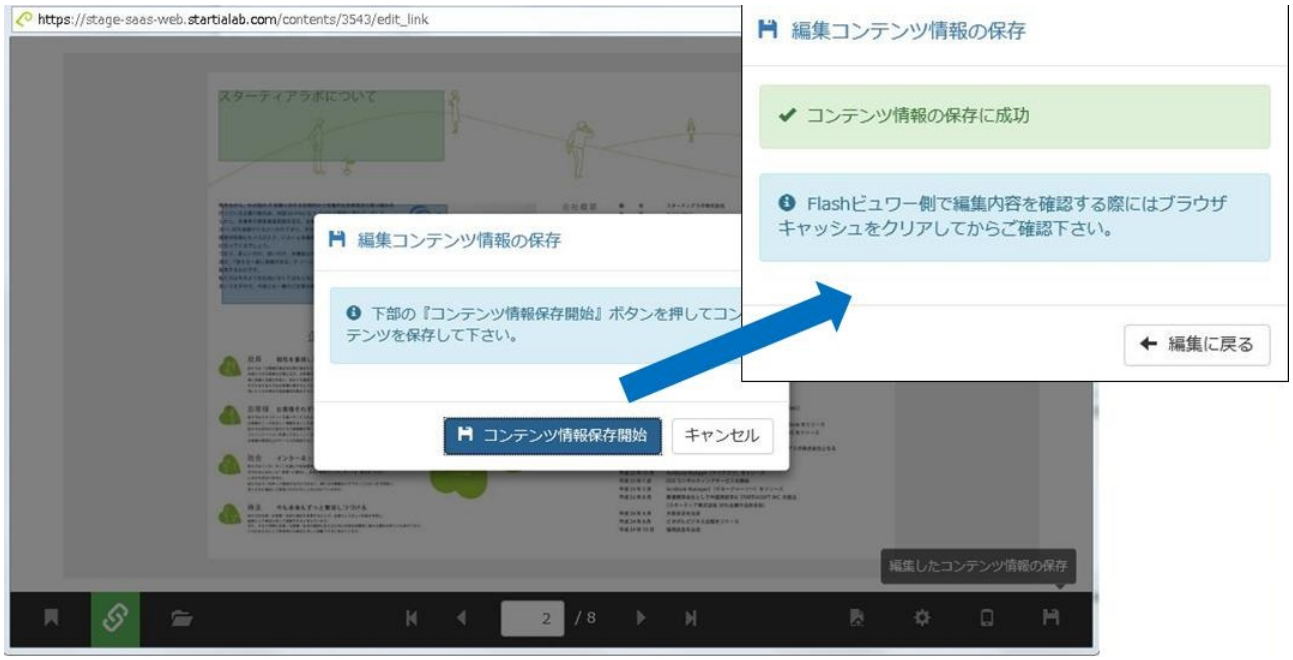
1. リンク領域を左クリックで選択してキーボードの「Delete」キーを押下してください。

2. リンク領域を右クリック or ダブルクリックで「リンクプロパティ設定」を開き「削除」を押下してください。

7－9　リンク設定の保存

リンクプロパティの設定が完了したら、「編集したリンク情報の保存」ボタンをクリックし、リンク情報をコンテンツに反映させます。

「編集コンテンツ情報の保存」ダイアログが表示されますので、コンテンツ情報保存開始ボタンをクリックします。



「コンテンツ情報の保存に成功」の表示がされれば、リンクの追加は完了です。
全てのリンク設定が完了したらブラウザを閉じて終了してください。
リンク追加方法の説明については以上です。

7－１０　Flash 版ボタングループの設定

電子ブックのコンテンツ作成時に、コンテンツのページめくりや印刷ボタンなど各種機能を使用するためのボタン配置を変更することができます。

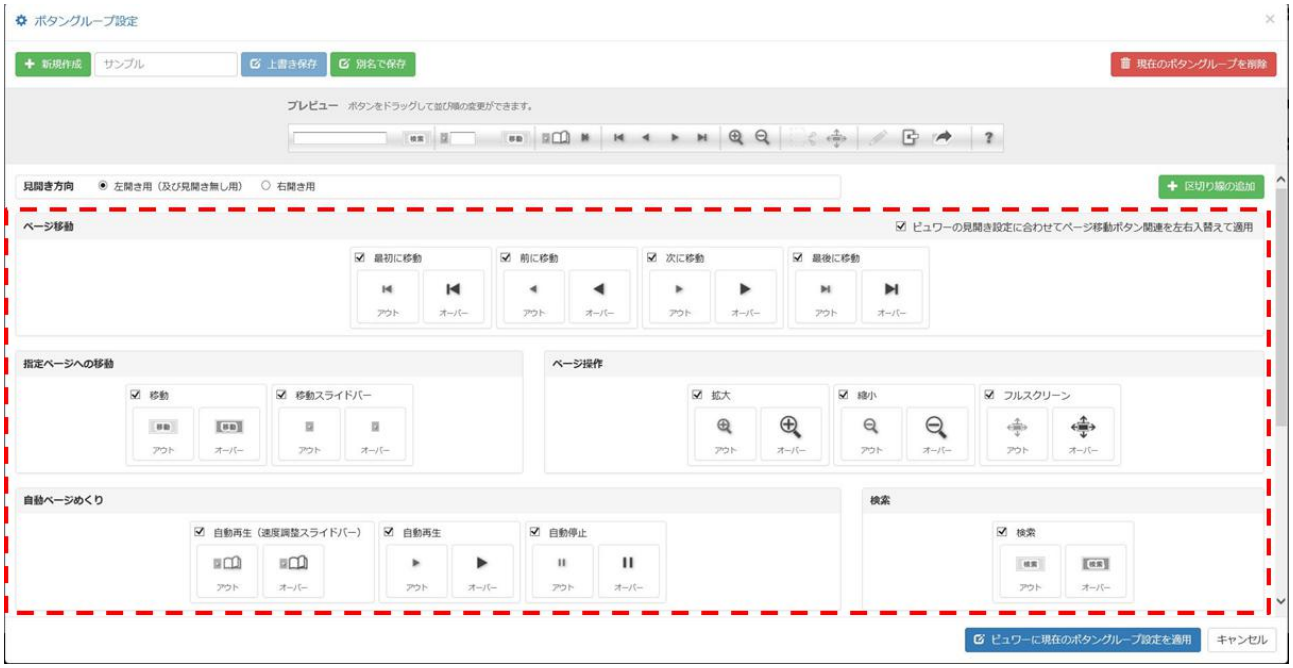
アイコンをクリックするとボタングループの設定ウィンドウが開かれます。

画面左上にある新規作成ボタンをクリックしてください。

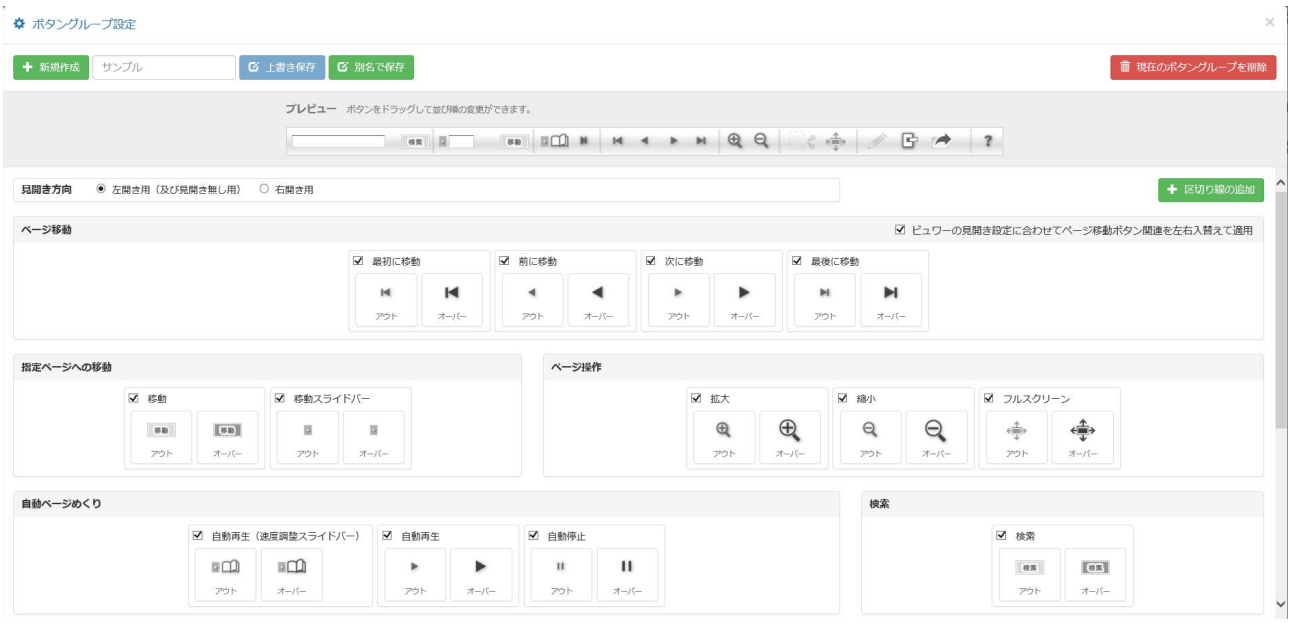
作業エリアが他のウィンドウよりも比較的大きいため、ウィンドウを最大化して作業することをおすすめします。

ボタングループの新規作成を行うと、ボタングループ名の入力を求められます。
ここでは任意のボタングループ名を入力してください。

ボタングループ名の入力が完了すると、ボタンバーのレイアウトを設定する項目が表示されます。

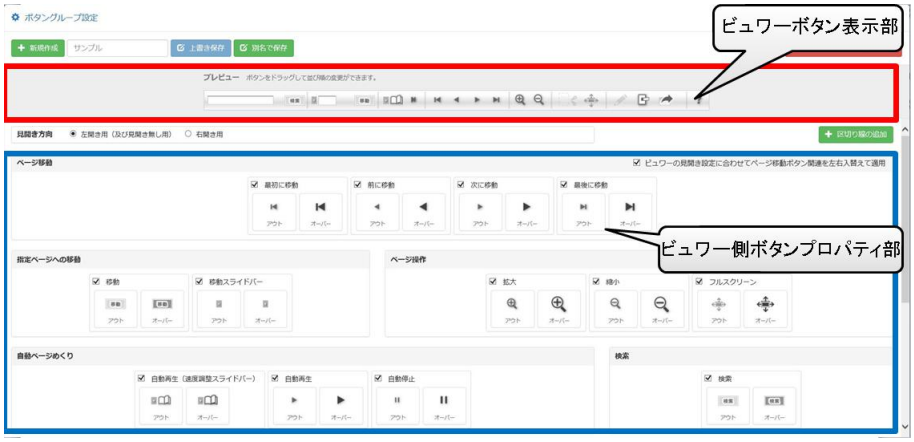


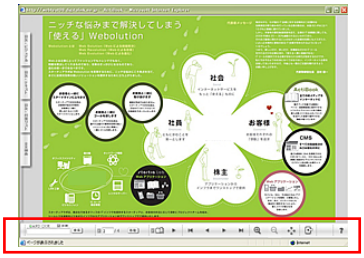
ビュワー上に表示するボタンの画像変更やレイアウト変更を行います。
このメニューを選択すると下図の様なビュワー側ボタングループの管理マネージャが表示されます。



7-11　ビュワーボタンのカスタマイズ

ボタングループ設定画面

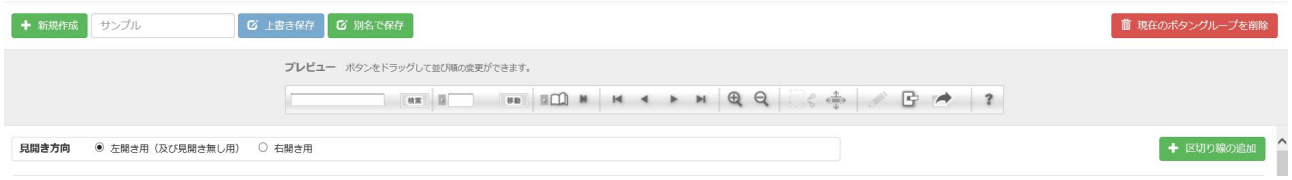




ビュワーファイルのコントロールバー
に編集が反映されます

青枠で囲まれた、ビュワー側ボタンプロパティ部で機能の ON/OFF を設定すると
上図の赤枠で囲まれた、ボタングループが閲覧時に表示される仕組みになっています。

7-12　ビュワーボタン表示部



- **ビュワーに現在のボタングループ設定を適用**
  カスタマイズ設定を行ったのち、今開いているコンテンツにボタンバー設定を適用する際に使用します。

- **ビュワーの見開き設定に合わせてページ移動ボタン関連を左右入れ替えて適用**
  コンテンツ作成時に設定した、コンテンツの“見開き設定”に合わせ、ページ移動ボタンの操作を入れ替えます。
  この編集ウィンドウ上では視覚的に変化はありませんが、コンテンツを閲覧した場合に有効になるボタン操作が変化します。

- **現在のボタングループを削除**
  現在読込まれているボタングループの削除を行います。

- **ボタン設定の呼び出し（プルダウンメニュー）**
  サーバ上に保存されている「ボタン画像と表示位置の組み合わせ」の設定を読込みます。
  「新しいボタングループを作成」→「設定を保存」することでビュワーファイルのボタングループとして
  構成を保存することができます。

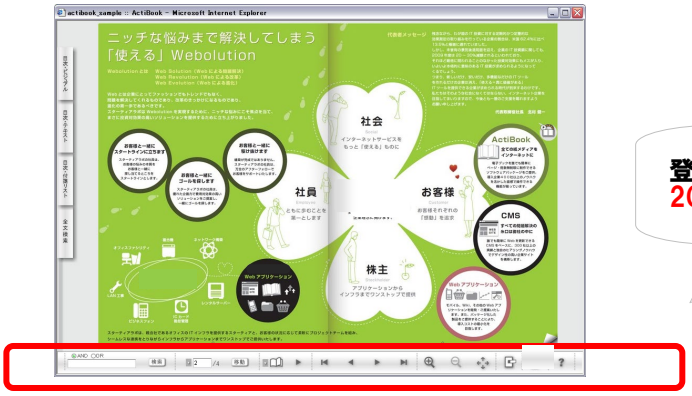
- **新規作成**
  現在サーバ上に保存されている「ボタン設定」を使用せず、１からボタングループを作成します。

- **上書き保存**
  カスタマイズの設定を行ったボタン設定および変更情報を「ボタングループ」として保存します。

- **別名で保存**
  カスタマイズの設定を行ったボタン設定および変更情報を「ボタングループ」として保存します。

- **区切り線の追加**
  ボタン画像とボタン画像の「区切り」として使用される画像を追加します。
  追加された画像はマウスのドラッグ＆ドロップで移動することができます。

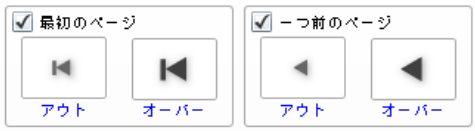
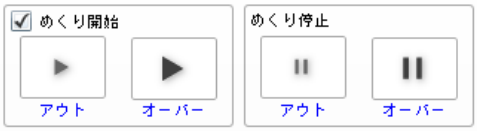
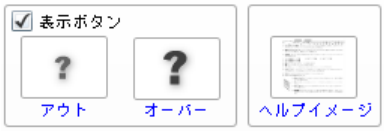
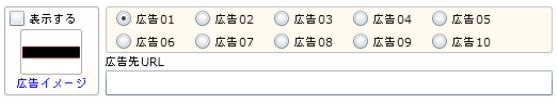
ここで設定されたボタングループを「ビュワーに現在のボタングループ設定を適用」で使用することで
ビュワーファイルのコントロールボタンのレイアウトを変更することができます。



登録可能なボタングループの上限数は
20 個までとなっています。

7-13　ビュワー側ボタンプロパティ部

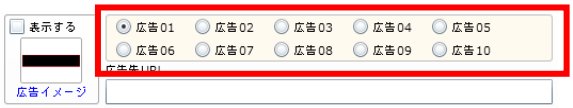
画像の差し替えを行うことのできる各ボタンの機能を説明します。　※ 画像は全て「左開き」用のボタン画像です

	ページの移動を行うためのボタンです。 ページの開き方向の指定により画像表示は異なりますが、最初のページと一つ前のページに移動する場合に使用します。
	ページの移動を行うためのボタンです。 ページの開き方向の指定により画像表示は異なりますが、一つ次のページと最後のページに移動する場合に使用します。
	ページ数を指定して移動する場合に使用するボタンです。 スライドバーはページ数を入力する項目の左右に必要に応じて表示されます。
	ビュワーファイル上に表示されているページイメージの拡大、縮小する場合に 使用するボタンです。
	フルスクリーン……表示中のウィンドウを全画面表示にします。
	ページめくりの移動処理を自動で行う場合に使用するボタンです。 「めくり開始」ボタンを押すと自動めくりが開始され、 「めくり停止」ボタンを押すと、自動めくりが停止します。
	自動めくり処理のめくりスピードを設定します。 ボタンを押すとスライドバーが表示され、めくり速度を視覚的に設定します。
	ビュワーファイル内のキーワードを検索する時に使用します。 主にキーワードの入力項目とセットで表示／非表示を制御します。 「検索」ボタンを押すと、入力されたキーワードを検索します。
	「ヘルプ」ボタンを押してビュワーファイルの操作方法を表示します。 「ヘルプ」ボタンを押すと「ヘルプイメージ」に設定されている画像イメージが読込みされます。
	付箋ボタンを押すと、表示されているページに「付箋」を貼り付けることができます。付箋にはテキストとリンクなどを追加でき、Shared Object という Adobe Flash が持つデータ領域に保存され、次にビュワーファイルを開いた時も表示されます。
	ボタングループ内にバナー領域を設置します。既定では設置されていません。 「広告先 URL」に任意の URL を記入しておくとバナーがクリックされた際に該当の URL に遷移させることができます。右上のオプションボタンで複数の広告を管理します。
	ビュワーボタングループに「ペン」機能を追加します。 ペン機能を使用するとビュワー上でカラーペンを使用してページイメージに線を引くことができるようになります。描いた内容はローカルＰＣ上に記録されます。

	ビュワーボタングループに「切り取り」機能を追加します。 切り取り機能を使用すると、ビュワー上のページイメージの一部を切り取ることができます。カットした内容は任意のフォルダに保存できます。
	ビュワーボタングループに「共有」機能を追加します。 マルチデバイス共有 マルチデバイス共有機能を使用すると、現在閲覧しているブックとページ数を FaceBook、Twitter、メールで他社と共有できます。 （PC、iOS、Android 間） 共有 共有機能を使用すると、ビュワー上の「ペン」機能と「付箋」機能に書き込みを行った入力情報を他者と共有できるようになります。 （PC 間）

7-14　広告ボタン枠の操作方法

広告ボタン枠のチェックボックスにチェックを入れると、ビュワーボタン表示部に広告枠が追加されます。イメージを選択すると、任意の画像をバナー画像として使用できます。（バナー画像のサイズは縦 40 ピクセル、横幅は特に指定がありません）



一つ設定が終わったら、ＵＲＬと画像の組み合わせは最大 10 件までプリセットとして登録することができます。登録した画像を切り替えるには、オプションボタンを変更すると切り替えることができます。

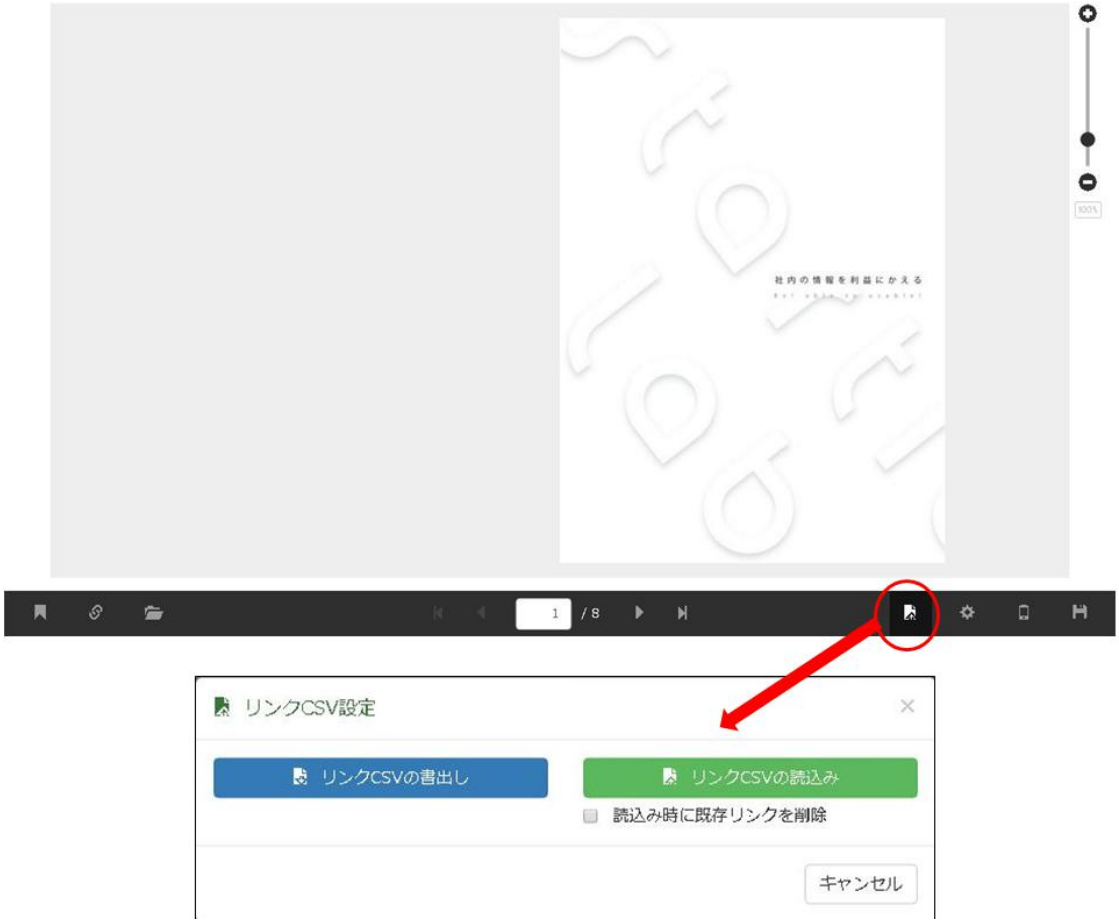
7-15　リンクデータの CSV 読込み/書出し

CSV 形式で作成したリンクの情報を書き出したり、書きだしたファイルの読み込みを行う事ができます。
書きだした CSV データを読み込む事で、一括でリンクの設定を行う事が可能です。
※ 本機能向けの CSV ファイルを一から作成するのは難易度が高い為、「ブックカスタマイズ」の画面上からリンクを作成し、「CSV 書出し」」を行った CSV ファイルをひな形にリンクを作成する事を推奨します。

Topic	CSV ファイルとは

CSV（Comma Separated Values）、データをカンマ(",")で区切って並べたファイル形式のこと。
主に表計算ソフトやデータベースソフトがデータを保存するときに使用されます。
汎用性が高く、多くの電子手帳やワープロソフトなどでも利用できるため、異なる種類のソフトウェア間の
データ交換に使われることも多いファイル形式です。
実体はテキストファイルであるため、テキストエディタやワープロなどで開いて直接編集することも可能です。

リンクデータの読込み／書出しをするには「リンク CSV 設定」をクリックします。



・リンク CSV の書き出し
リンクデータを CSV ファイルとして書き出します。

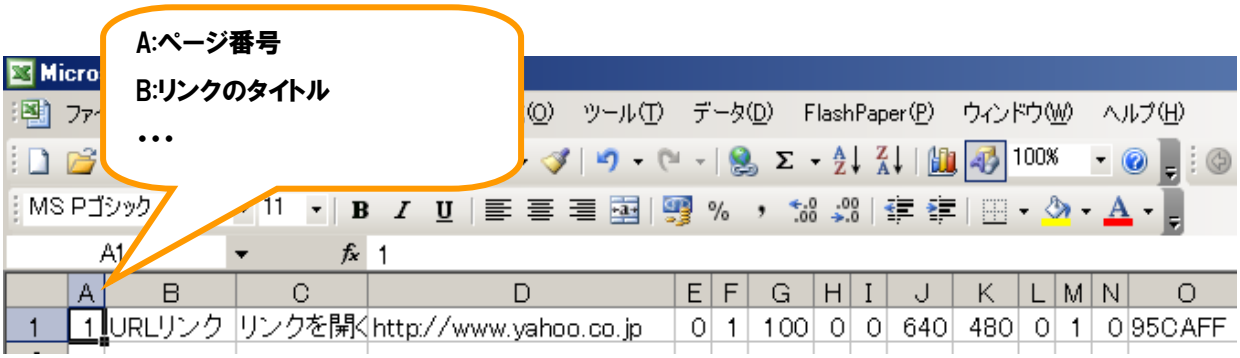
・リンク CSV の読み込み
「リンク CSV の書出し」で書き出した CSV ファイルを読み込みます。

・読み込み時に既存リンクを削除
チェックを入れる事で、既存のリンクデータの情報を全て削除した上で
リンクの情報を読み込みます。
チェックを入れないと、既存のリンクデータに読み込んだリンクデータを追加します。

CSV ファイルの A～AD の列に、設定したリンクの内容が反映されます。

各項目に対応した箇所を書き換える事で、直接リンク内容を編集する事が可能です。

※CSV ファイルは「テキストエディタ」で編集することが可能です。
　下図は Microsoft Excel で CSV ファイルを編集した場合のセル（列）を表しています。



CSV 編集の例１

「A」の列に表示されている数字「１」はページ番号を示しています。

「１」を「２」に変更した場合、１ページに設定したリンクは２ページ目に表示されます。

CSV 編集の例２

「B」の列に表示されている文言「URL リンク」はリンクのタイトルを示しています。のタイトルを示しています。

「URL リンク」を「URL LINK」に変更した場合、リンクに設定したタイトルは「URL LINK」と表示されます。

リンクデータを書きだした CSV のファイル上で、各列で何を表しているかは次のページを確認下さい。

リンクデータ CSV フォーマット

セル（列）	値の意味	値の例
A	ページ番号（ノンブル）	2
B	リンクのタイトル	タイトル
C	リンクのコメント	コメント
D	URL リンクの場合のリンク情報	http://www.yahoo.co.jp
E	リンクのターゲット （0：URL リンク　　1：ファイルリンク　　2：ページリンク）	0
F	ページリンク先のページナンバー	4
G	ページリンクの場合の拡大%（整数） ※こちらの機能は今後、対応予定です。現状は使用できない為、設定は不要です。	空欄
H	URL リンクの場合：URL リンクを開くウィンドウの X 座標（ウィンドウ左からの位置） ページリンクの場合：拡大中心 X 座標（ページ左からの位置） ※こちらの機能は今後、対応予定です。現状は使用できない為、設定は不要です。	空欄
I	URL リンクの場合：URL リンクを開くウィンドウの Y 座標（ウィンドウ上からの位置） ページリンクの場合：拡大中心 Y 座標（ページ上からの位置） ※こちらの機能は今後、対応予定です。現状は使用できない為、設定は不要です。	空欄
J	URL リンクを開くウィンドウの横幅 ※こちらの機能は今後、対応予定です。現状は使用できない為、設定は不要です。	空欄
K	URL リンクを開くウィンドウの縦幅 ※こちらの機能は今後、対応予定です。現状は使用できない為、設定は不要です。	空欄
L	URL リンクを開くウィンドウのスタイル （0：デフォルト　　1：フルスクリーン）	0
M	フレームライン（リンク外枠）を付けるかの有無 （0；無し　　1：有り）	1
N	フレームライン（リンク外枠）のリアクティブ（マウスがその領域に入った時に表示される枠）の有無　（0：無し　　1：有り）	1
O	マウスがフレームライン（リンク外枠）に入っていない時の色（RGB 値：6 桁 0～F までの 16 進数） 例）AABBCC　AA：赤　BB：緑　CC：青　（0～255 を 16 進数 2 桁（00～FF）で表します）	AABBCC
P	マウスがフレームライン（リンク外枠）に入っている時の色 （RGB 値：6 桁 0～F までの 16 進数） 例）AABBCC　AA：赤　BB：緑　CC：青　（0～255 を 16 進数 2 桁（00～FF）で表します）	AABBCC
Q	マウスがフレームライン（リンク外枠）に入っていない時の線の太さ（整数で 1～30 の範囲内）	2
R	マウスがフレームライン（リンク外枠）に入っている時の線の太さ（整数 1 ～30 の範囲内）	3
S	エリア（リンク枠内の領域）の有無 （0：無し　　1：有り）	1
T	エリア（リンク枠内の領域）のリアクティブ（マウスがその領域に入った時に表示される）の有無　（0：無し　　1：有り）	1
U	マウスがエリア（リンク枠内の領域）に入っていない時の色 （ARGB 値：8 桁 0～F までの 16 進数） 例）FFAABBCC FF：透過値を 16 進数で表したもの（値が大きい程不透明になる） AABBCC　AA：赤　BB：緑　CC：青　（0～255 を 16 進数 2 桁（00～FF）で表します）	FFAABBCC
V	マウスがエリア（リンク枠内の領域）に入っている時の色 （ARGB 値：8 桁 0～F までの 16 進数） 例）FFAABBCC FF：透過値を 16 進数で表したもの（値が大きい程不透明になる） AABBCC　AA：赤　BB：緑　CC：青　（0～255 を 16 進数 2 桁（00～FF）で表します）	FFAABBCC
W	ブック上のリンクポジションレフトの X 座標（ページ左端からの位置） 値は（レフト値 / ページ幅）0～2 の範囲	0.1（横軸左端）
X	ブック上のリンクポジショントップの Y 座標（ページ上端からの位置） 値は（トップ値 / ページ高さ）0～1 の範囲	0.1（縦軸上端）
Y	ブック上のリンクポジションライトの X 座標（ページ左座標＋リンク幅の位置） 値は（ライト値 / ページ幅）0～2 の範囲	0.5（横軸中央）
Z	ブック上のリンクポジションボトムの Y 座標（ページ上座標＋リンク高さの位置） 値は（ボトム値 / ページ高さ）0～1 の範囲	0.5（縦軸中央）
AA	「誌面上動画埋込み」オブジェクトか否か （0：埋め込まない　1：誌面上動画埋め込みをする）	1
AB	「誌面上動画埋込み」（Flash 版）オブジェクトに動画のコントローラーを表示するか否か （0：コントローラーを表示しない　1：コントローラーを表示する）	1
AC	「誌面上動画埋込み」オブジェクトを自動再生するか否か （0：自動再生しない　1：自動再生する）	1
AD	スマートデバイス版の URL リンクを開く際のブラウザ （0：アプリ内ブラウザで開く　　1：外部ブラウザで開く） ※スマートデバイス版のコンテンツを書き出している場合に反映されます。	0

※入力が必須な項目名は水色で表示しています。

以上でブックカスタマイズの説明は終了となります。

8　ログ解析の設定

ログ解析の設定方法を説明します。

ログ解析とは、ActiBook にヒートマップ形式のログ収集の機能を持たせる機能です。

ヒートマップ対応ログ形式
ヒートマップ対応ログ形式は ActiBook HeatMapLog にて解析を行います。
詳細は別紙「ActiBook HeatMapLog マニュアル」を参照下さい。

Google Analytics でのログ形式
Google Analytics で取得できる情報は、通常の WEB 解析と同じ内容となります。

9　検索オプション

コンテンツ一覧画面で、登録したコンテンツを検索する時に使用します。

キーワードに検索したいテキストを入力すると、対象のキーワードを複合検索（ＡＮＤ、ＯＲ）させることができます。
検索対象となるのは「ブックタイトル」と「ファイル名」に入力されたテキストのみとなります。
また、ステータスの項目で「全て」「変換済み」「変換中」「変換失敗」を選択することによりさらに検索結果を絞り込むことが可能です。

各設定項目を入力後に「上記オプションで検索する」ボタンをクリックすると、検索結果が表示されます。
検索をやめるには「キャンセル」もしくはウィンドウ右上の「閉じる」ボタンにてウィンドウを閉じてください。

Topic　ＡＮＤ検索、ＯＲ検索とは？

［ＡＮＤ検索］
キーワードで検索する際の手法の一つ。２つ以上の単語をスペースで区切って指定し、指定されたすべてのキーワードを含む検索結果を抽出します。

［ＯＲ検索］
キーワードで検索する際の手法の一つ。２つ以上の単語をスペースで区切って指定し、指定されたキーワードの内どれか一つを含む検索結果を抽出します。
どちらも単一語検索より整合性の高い情報を見つけやすくなります。

１０　コンテンツ詳細情報画面

コンテンツ一覧画面より、作成したコンテンツの「サムネイル画像」か「ブックタイトル」のリンクをクリックするとコンテンツ詳細情報画面に遷移します。

◆ **コンテンツ詳細画面**

１０-１　コンテンツ詳細情報画面の表示項目

① **コンテンツ一覧に戻る**
コンテンツ一覧画面に戻ります。

② **QR コード**
QR コードをスキャンすると、ブックを開くための index 画面に遷移します。

③ **コンテンツ情報**
登録されているコンテンツの情報を確認することができます。
コンテンツ情報の詳細については「コンテンツ編集」と同一です。

④ **削除ボタン・編集ボタン**
コンテンツの削除、編集を行います。

⑤ **ページ一覧**
コンテンツ内のページがサムネイル表示で確認できます。

Index 画面

各「ブックを開く」をクリックすると
各端末でブックを開く事ができます。

Digit@Link ActiBook

アカウント管理

１１　アカウント情報画面

※ ActiBook Manager との連携に必要な項目については、次のページにて確認してください。 ⇒ P.110

- **アカウント情報を編集する**
  登録されているアカウント情報を編集します。 → P.83

- **パスワードを変更する**
  ログインＩＤに関連付けられているパスワードを変更します。 → P.84

- **スマートデバイス登録アカウントの設定**
  コンテンツ登録システムにログインするアカウントを入力しておくと、コンテンツ作成時に
  コンテンツＩＤ、パスワードを登録するだけで、自動的にコンテンツ登録システムにコンテンツが登録されます。
  → P.85

１１-１　アカウント情報画面の項目

アカウント情報

ログインＩＤ	ログインＩＤを確認します。
メールアドレス	ログインＩＤに関連付け登録されているメールアドレスを確認します。
会社名	ログインＩＤに関連付けされている会社名を確認します。
担当者	ログインＩＤに関連付けされている担当者名を確認します。

スマートデバイス登録しステム連携アカウント設定

ログインＩＤ	ログインＩＤを確認します。
メールアドレス	ログインＩＤに関連付け登録されているメールアドレスを確認します。
会社名	ログインＩＤに関連付けされている会社名を確認します。
担当者	ログインＩＤに関連付けされている担当者名を確認します。

サービス利用状況

契約プラン	ご利用中のプラン名を確認します。
容量	プランで決められている使用容量、空き容量を確認できます。
使用領域	契約中のディスク領域の内、使用ディスク領域を確認できます。
空き領域	契約中のディスク領域の内、空きディスク領域を確認できます。
契約デバイス	ご契約いただいているプランで使用できるデバイスを確認できます。

１１-２　アカウント情報の編集

アカウント情報の編集、更新を行います。

- **ログインＩＤ**
  ログインＩＤを確認します。ログインＩＤは契約時に決定され、後から変更することはできません。

- **メールアドレス**
  メールアドレスを確認します。メールアドレスは契約時に決定され、後から変更することはできません。

- **会社名**
  会社名を変更することができます。

- **担当者名**
  担当者名を変更することができます。

「編集後、アカウント情報を更新する」ボタンを押すことで編集した情報が保存されます。
保存せず、前の画面に戻りたい場合は「キャンセル」ボタン、もしくはウィンドウ右上の「閉じる」ボタンをクリックします。

当ページの会社名、担当者名の情報は、SaaS 版契約時のプランや請求先との関係性はありません。契約プランや、請求に関わるお客様情報の変更はプログラム上ではお受けできませんので、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

１１-３　パスワードの変更

パスワードの変更を行ないます。

・パスワードの更新
新パスワードと新パスワード（確認）のテキストを入力し「パスワードを変更する」ボタンを押すことで
パスワードの変更が完了します。パスワードは 8～20 文字の半角英数字を入力してください。

保存せず、前の画面に戻りたい場合は「キャンセル」ボタン、もしくは
ウィンドウ右上の「閉じる」ボタンをクリックします。

※　パスワードをお忘れになった方は、ログインページの「パスワードをお忘れになった方はこちら」のリンクを
クリックし、パスワードの再発行の設定を行なってください。**詳細はこちら → P.7**

１１-４　スマートデバイス登録アカウントの設定

ActiBook SaaS で作成したコンテンツをコンテンツ登録システムと連動させる場合に使用します。

ここでは、コンテンツ登録システムにログインするためのアカウントを既定値として登録しておくことができます。

・ユーザＩＤ
　ActiBook SaaS ご契約の際に、通常は自動で入力されて保存されております。

・ パスワード
　ActiBook SaaS ご契約の際に、通常は自動で入力されて保存されております。

※
ユーザＩＤ、パスワードは任意で変更していただく事ができません。
ご要望がございましたら、サポート窓口までお申し付け下さい。

Digit@Link ActiBook

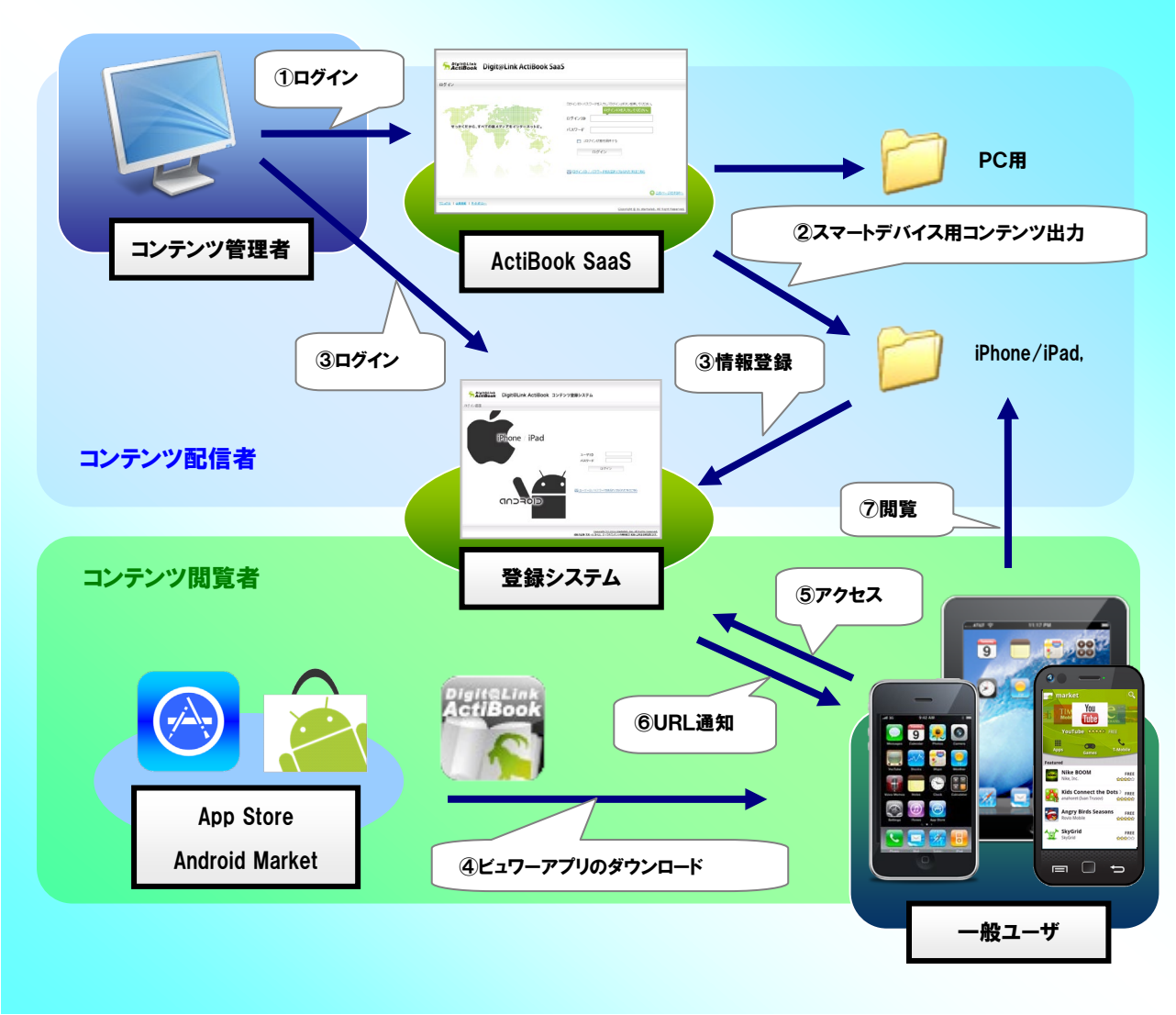
コンテンツ登録システム【登録】

１２　スマートデバイス用コンテンツ公開までの流れ

スマートデバイス用コンテンツの公開には、専用のコンテンツ管理システムである

「Digit@link ActiBook コンテンツ登録システム」を利用します。

１２-１　登録システムの仕組み



上図を確認しながら、下記の手順をご覧ください。①～③はコンテンツ配信者の対応範囲、④～⑦は閲覧者の項目です。

① ActiBook SaaS にログインします。

② スマートデバイス用コンテンツを出力します。

③ 登録システムにログインし、「スマートデバイス用 URL」とコンテンツID（パスワードは省略可）を登録します。

④ 一般ユーザは App Store または Android Market より、ActiBook ビュワーアプリをダウンロードします。

⑤ アプリを起動し、コンテンツIDを入力します。

ビュワーアプリがコンテンツIDを元に登録システムにURLをオンライン照会します。

⑥ 登録システムは、コンテンツIDに従い一般ユーザのアプリにURLを通知します。

⑦ 通知された URL にアプリからアクセスし、コンテンツを表示します。

以上の流れでスマートデバイス用コンテンツを一般ユーザが閲覧可能になります。

１３　コンテンツ登録システムの操作

コンテンツ登録システムの操作方法を説明します。

１３-１　コンテンツ一覧画面

・新しいログイン URL https://manage-jp.actibook.net/user/login

・メディアサイト URL http://www.actibook.net/

上記のURLをブラウザのアドレスバーに入力し、サイトにアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

登録システムにログインするためのユーザID、パスワードを入力し、ログインしてください。

※ユーザID、パスワードは別途弊社からメール等でご案内させていただいております。
　各企業様によってユーザID、パスワードは異なります。

１３-２　TOP 画面

コンテンツ登録システムにログインすると、コンテンツ一覧画面が表示されます。
まだ何も登録していない場合は、コンテンツ一覧には何も表示されません。

- **新規登録**
  ActiBook オーサリングツールで出力したコンテンツを登録する時に利用します。
  コンテンツファイル一つにつき、一つのコンテンツIDが必要です。
  コンテンツの登録方法については、次のページより確認してください。

- **コンテンツ一覧**
  ユーザIDに対して、登録されているコンテンツの一覧を表示します。
  右側の「削除」ボタンによってコンテンツの情報を削除、左側の「更新」ボタンで、内容修正後の情報を反映します。

１３－３　コンテンツ登録、編集

登録システムにログイン後、新しくコンテンツを追加、編集する手順を説明します。

Step.1　コンテンツIDの入力　必須入力

新規コンテンツ登録の入力欄にコンテンツIDを入力します。

コンテンツIDは　半角英数字（50 文字）と半角の「－」（ハイフン）、半角の「_」（アンダースコア）のみが入力可能で、
大文字・小文字は区別されます。
上記の文字以外でコンテンツIDの登録はできませんのでご注意ください。

※ コンテンツIDは全利用ユーザの中でユニークなIDであり、重複して登録することはできません。

Step.2　パスワードの入力

パスワードを入力します。パスワードはコンテンツIDと同じく、半角英数字（50 文字）で入力が可能で、大文字・小文字が区別されます。
パスワードについては、入力を行なわなくとも新規登録が可能です。

Step.3 URL（コンテンツアップロード先）の入力

オーサリングツールが書き出した folder をそのままサーバにアップロードしてください。
登録システムにアップロードしたアップロードした URL を登録してください。

例）オーサリングツールで sample_book という名前でブックを作って Server の「Book」の下にアップロードした場合
登録する URL は www.server.com/Book/sample_book になります。

Step.4 ブック紹介の設定

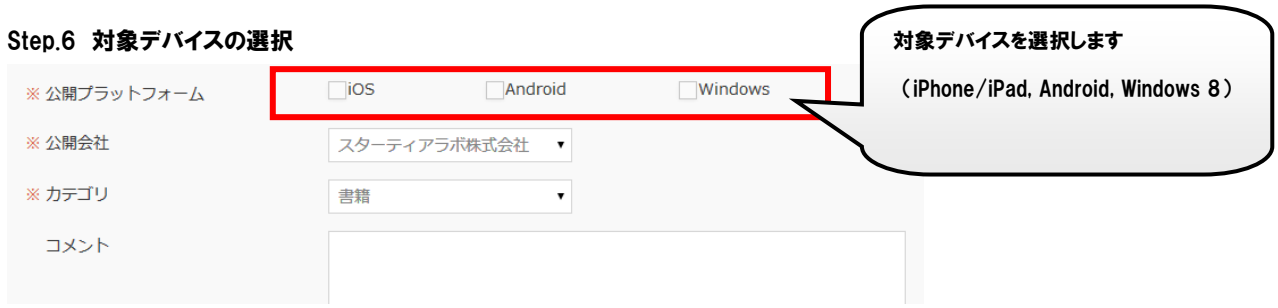
ブックの紹介文を入力してください。最大 1000 文字まで入力できます。

Step.5　公開、非公開の設定

「アプリ無料公開の利用する」にチェックを入れる事で、メディアサイトにブックが公開され
ブック検索を行う事が可能になります。
※詳しい内容は「16-7 メディアサイトへの公開」を参考してください。

※チェックを入れなくても、アプリ上で ID/PASS を入力する事で、ブックの入手は可能です。
限定して公開したい場合には、チェックを入れず対象の方に ID/PASS をお知らせください。

Step.6　対象デバイスの選択



次に対象デバイスを選択します。チェックが入っているデバイスに対しコンテンツが閲覧可能になることを示しています。

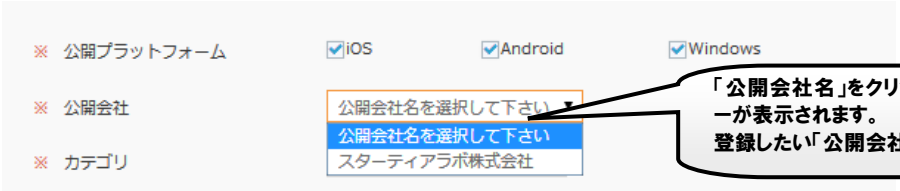
iOS・・・登録されているコンテンツが iPhone/iPad 端末で閲覧可能になる

Aandorid・・・登録されているコンテンツが Android 端末で閲覧可能になる

Windows・・・登録されているコンテンツが Windows 8.1 (Windows 8) 端末で閲覧可能になる

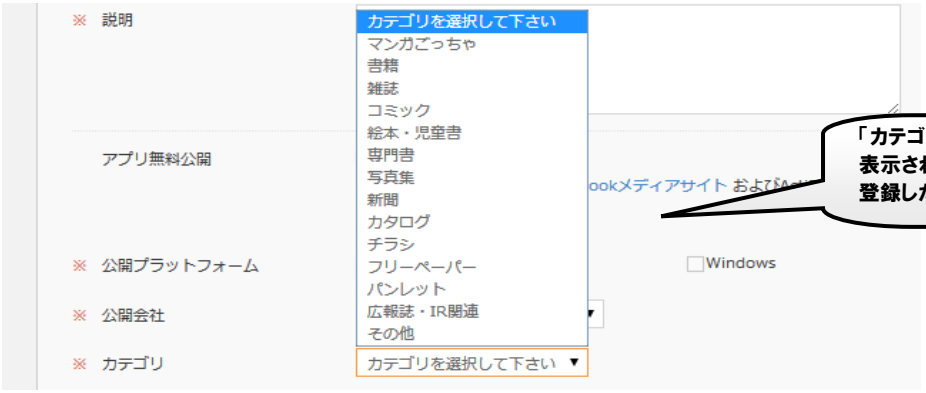
Step.6　公開会社名の設定

「アプリ無料公開の利用する」にチェックを入れると「公開会社名」プルダウンから選択できるようになります。



※公開をする場合、会社名の選択は必須となっておりますのでご注意ください。
※「公開会社名」はユーザ側では追加、編集する事ができません。
追加、編集が必要な場合には弊社サポートまでご連絡お願いいたします。

Step.7　カテゴリの設定



※公開をする場合、カテゴリの選択は必須となっておりますのでご注意ください。

Step.8　コメントの入力

コメントは ActiBook ビュワーアプリからの閲覧時に直接参照されることはなく、登録システム上で管理者が管理しやすいように記録する入力欄として使用します。
最大 250 文字まで入力できます。

Step.9 登録

全ての入力が完了したら、「登録」ボタンを押して登録を完了してください。

エラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージの指示に従い入力した内容を修正してください。
正しく登録が完了されるとコンテンツが閲覧可能状態となります。

「コンテンツ」一覧画面より、「編集」を行った場合も、同様の操作で編集が可能です。

※「編集」の場合、「ID」は、変更できません。

以上で新規コンテンツの登録、編集方法についての説明を終了します。

１３－４　コンテンツ一覧　エクスポート機能の使い方

「CSV」ボタンをクリックする事で、「エクスポート」と「インポート」ボタンが表示されます。

「エクスポート」ボタンをクリックすると、CSV ファイルを保存するためのダイアログが表示されます。

- **出力時の文字コードは「Shift-JIS」です。**

「保存」クリックし、保存場所を指定するとデータがエクスポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	処理	コンテンツID	パスワード	IPhone/iPad	Android	Windows	URL	コメント	タイトル	ブック紹介	カテゴリー	アプリ内で無料	公開会社	ページ数	iPhone版サ	iPad版サイズ
2		sample1		1	1	1	http://system	サンプルで	sample1	カタログです	12	1	5	10	30818420	31746340
3		sample2		1	1	1	http://system	サンプルで	sample2	カタログです	12	1	5	8	54133451	31746340
4		sample3		1	1	0	http://system	サンプルで	sample3	カタログです	12	0	5	4	43488654	31746340

エクスポートされたデータは以下のように情報を保持しています。

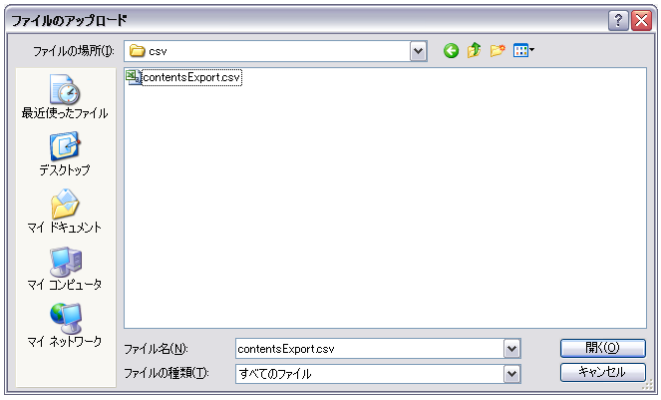
A	1 列目	処理	【必須入力】	1=新規登録, 2=変更, 3=削除 ※3 の削除時のみ、2 列目より右の項目は不要です。
B	2 列目	コンテンツ ID	【必須入力】	半角英数字 50 文字まで
C	3 列目	パスワード		半角英数字 50 文字まで
D	4 列目	対象デバイス(iPhone/iPad)	【必須入力】	1＝対象とする, 空欄＝非対象
E	5 列目	対象デバイス(Android)	【必須入力】	1＝対象とする, 空欄＝非対象
F	6 列目	対象デバイス(Windows)	【必須入力】	1＝対象とする, 空欄＝非対象
G	7 列目	URL(コンテンツアップロード先)	【必須入力】	半角英数字 200 文字まで
H	8 列目	コメント	【必須入力】	500 文字まで
I	9 列目	説明		1000 文字まで(改行は1文字扱い)
J	10 列目	カテゴリ		文字で入力
K	11 列目	アプリ内で無料公開		1=公開　空欄=非公開
L	12 列目	公開会社		文字で入力

１３－５　コンテンツ一覧　インポート機能の使い方

複数のコンテンツを一括で登録するには、インポート機能をお勧めします。
インポートを行なうためのデータを作成する場合は、事前にエクスポートを行なっておくと CSV のレイアウトを作成する手間を省くことができます。

「CSV」ボタンをクリックする事で、「エクスポート」と「インポート」ボタンが表示されます。

「インポート」ボタンをクリックすると、CSV ファイルを選択するためのダイアログが表示されます。



csv ファイルを選択する事でデータがインポートが行われます。

※各項目の内容は上記のエクスポート機能の使い方を参考してください。

編集例）:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	処理	コンテンツID	パスワード	IPhone/iPad	Android	Windows	URL	コメント	タイトル	ブック紹介	カテゴリー	アプリ内で無
2	1	sample1		1	1	1	http://system	サンプルで	sample1	カタログです	12	1
3	2	sample2		1	1	1	http://system	サンプルで	sample2	カタログです	12	1
4	3	sample3		1	1	0	http://system	サンプルで	sample3	カタログです	12	0

編集例では「処理」の項目に数値を追加した場合、

「sample1」のコンテンツ ID を新規登録。

「sample2」のコンテンツ ID を持つデータを変更（コンテンツ ID が一致するデータを上書き）

「sample3」のコンテンツ ID を持つデータを削除（コンテンツ ID が一致するデータを削除）します。

１３－６　インポート結果画面

下記のような『インポート　取込結果一覧』が表示されれば処理完了です。

正しくインポートされたデータは「取り込み成功」のエリアにコンテンツ ID が表示され
誤ってインポートされたデータは「取り込み失敗」のエリアにコンテンツ ID が表示されます。
入力した内容に問題のある箇所が、赤字で表示されます。

※　誤ってインポートされたデータがある場合には、記入した内容に問題が無いか、再度チェックしてみてください。

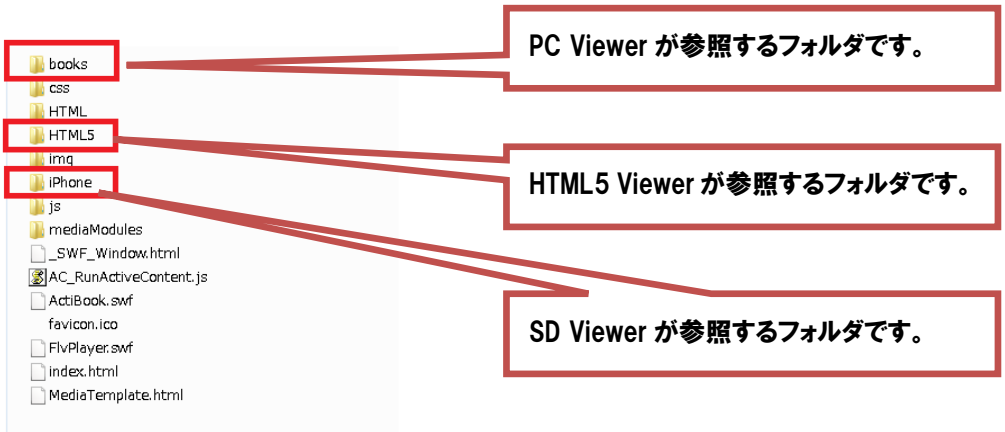
以上でインポート作業の説明を終了します。

１３－７　メディアサイトへの公開

※メディアサイト URL　http://www.actibook.net/

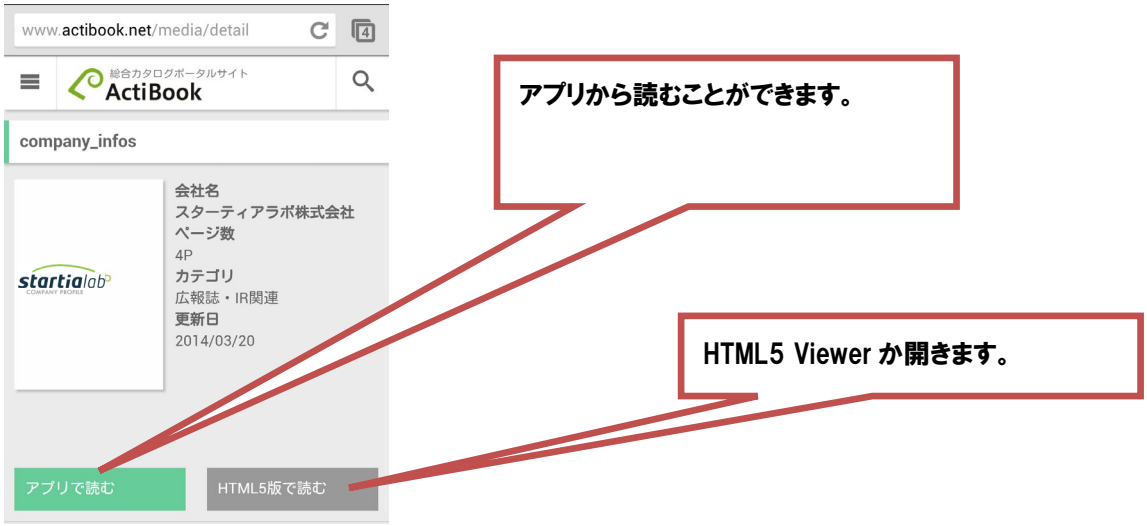
「無料公開」にチェックを入れた場合、登録したブックはメディアサイトにも公開されます。
お客様のサーバーにアップロードしたブックの構成によってメディアサイトに表示される内容が次のように変わります。

1. サーバーに PC 用、HTML5 用、SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合



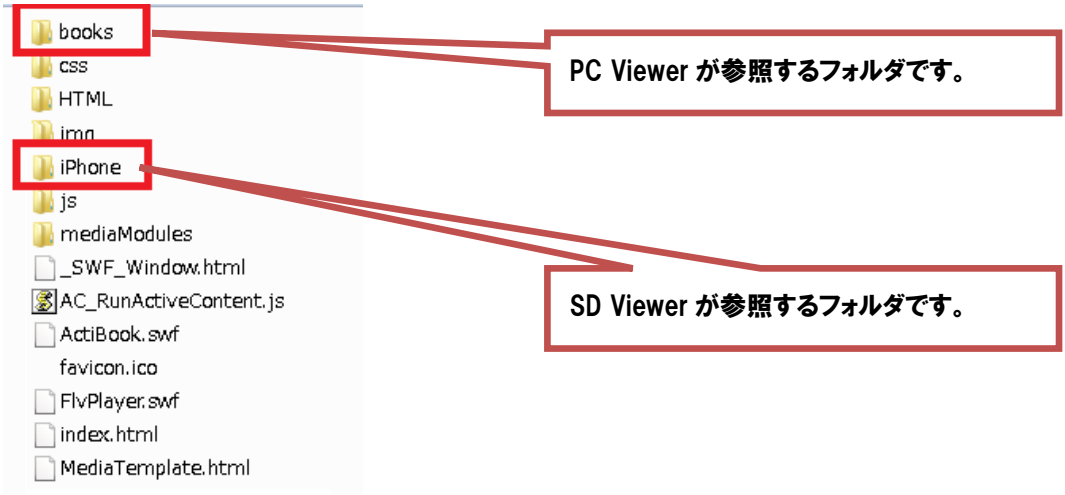
■ PC ブラウザからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「FLASH 版で読む」、「HTML5 で読む」二つが表示されます。

■ iPhone, Android 端末のブラウザからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」、「HTML5 版で読む」二つが表示されます。



■ iPhone, Android アプリの新規ブックからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」だけが表示されます。

2. サーバーに PC 用、SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合



■ PC ブラウザからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「FLASH 版で読む」が表示されます。

■ iPhone, Android 端末のブラウザからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」が表示されます。

■ iPhone, Android アプリの新規ブックからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」だけが表示されます。

3. サーバーに SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合

■ PC ブラウザからメディアサイトには該当ブックが表示されません。

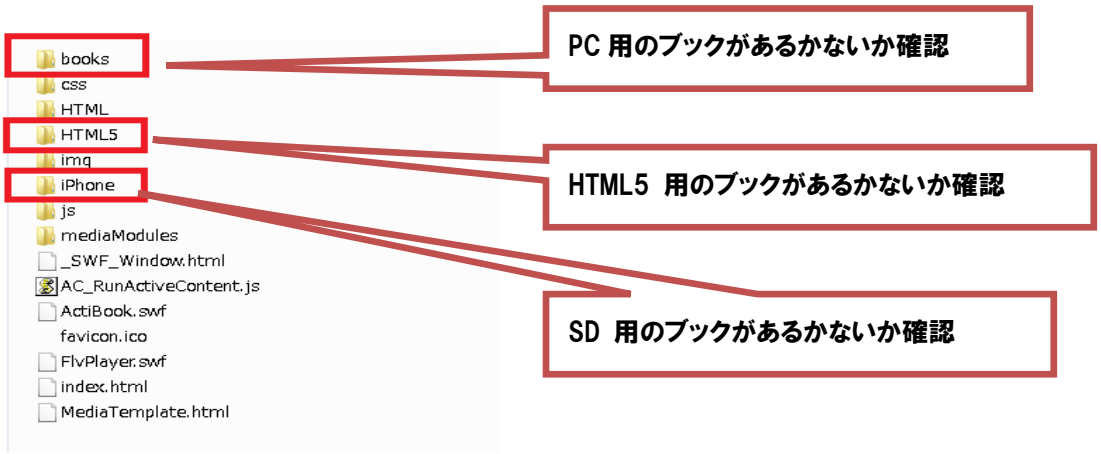
■ iPhone, Android 端末のブラウザからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」が表示されます。

■ iPhone, Android アプリの新規ブックからメディアサイトにアクセスして該当ブックを開くと「アプリで読む」だけが表示されます。

１３-８　ブック存在の確認

「無料公開」にチェックを入れた場合、メディアサイトでのリンク切れを防ぐため登録 URL 対して定期的にアクセスします。アクセスするサーバー名は crawl.actibook.net になります。
この結果でブックのメディアサイトへの表示・非表示を自動管理します。

■アクセスする対処になるものは以下になります。



■ブック構成によってお客様のサーバーにアクセスエラーログが発生します。

A)　サーバーに PC 用、HTML5 用、SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合。
　　①　特にでるアクセスエラーはありません。

B)　サーバーに PC 用、SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合。
　　①　HTML5 に対してアクセスエラーログが発生します。

C)　サーバーに HTML5 用、SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをアップした場合。
　　①　books に対してアクセスエラーログが発生します。

D)　サーバーに SD (iOS, Android, Windows 8.1 アプリ) 用のブックをのみアップした場合。
　　①　books, HTML5 に対してアクセスエラーログが発生します。

以上、コンテンツ登録システムの説明でした。

14 コンテンツ登録システムからログ確認

コンテンツ登録システムには、お客様が登録したブックに関する情報が分かりやすく分析できるように

「ログ」を見る機能がございます。

ログに関しては以下の時に更新される内容をベースに集計します。

・PC から ActiBooks に公開されているブックを閲覧した時（Flash, HTML5 両方）

・スマートフォンの通常ブラウザから ActiBooks に公開されているブックを閲覧した時

・ActiBook アプリから ActiBooks に公開されているブックを閲覧した時

・ActiBook アプリから ID/PW でブックを取得した時

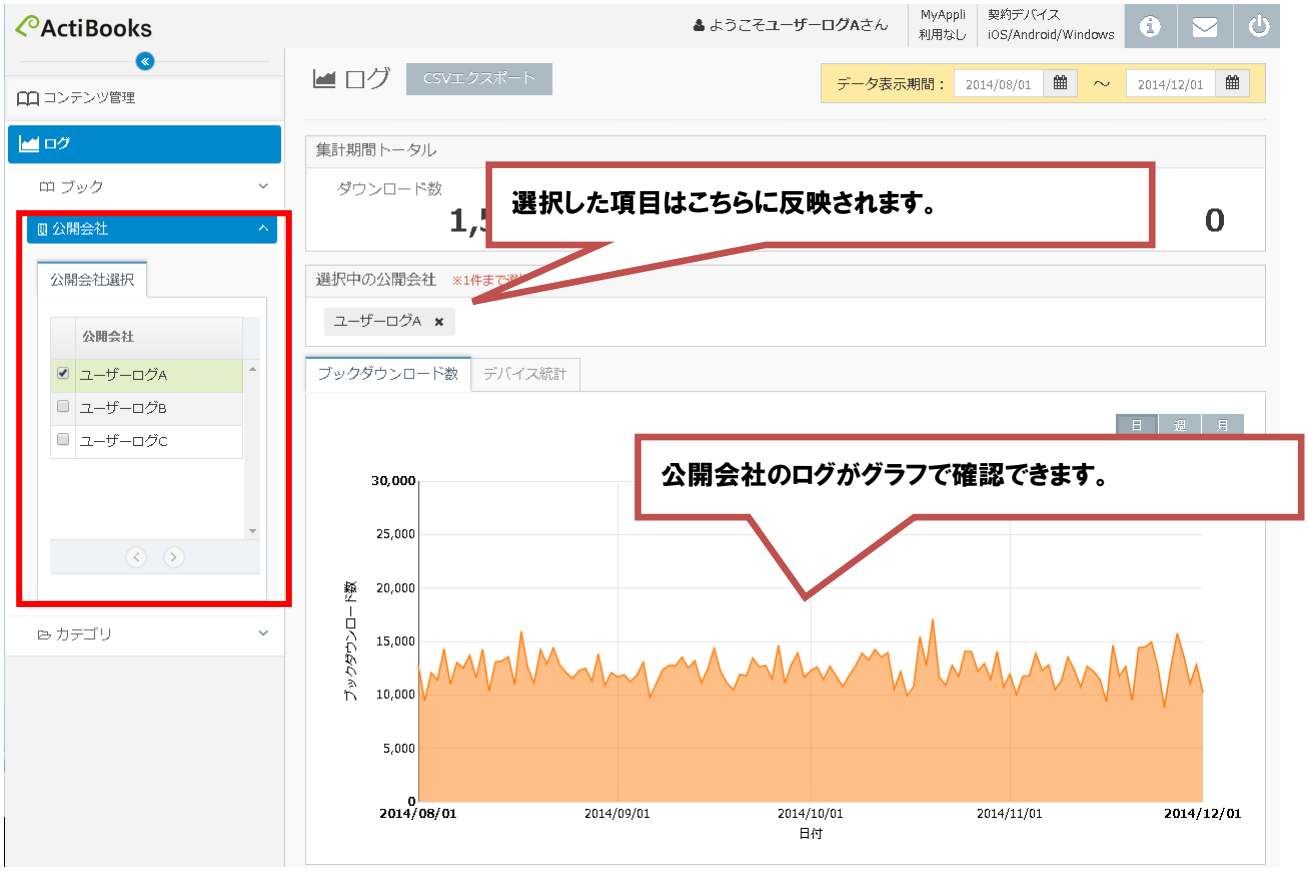
※コンテンツ登録システムを利用してないブックに関しては表示されません。

14-1 ブックをベースにログを見る

■ブックの「ダウンロード数」を集計期間を変更しながらグラフで確認することができます。

14-2 公開会社をベースに見る

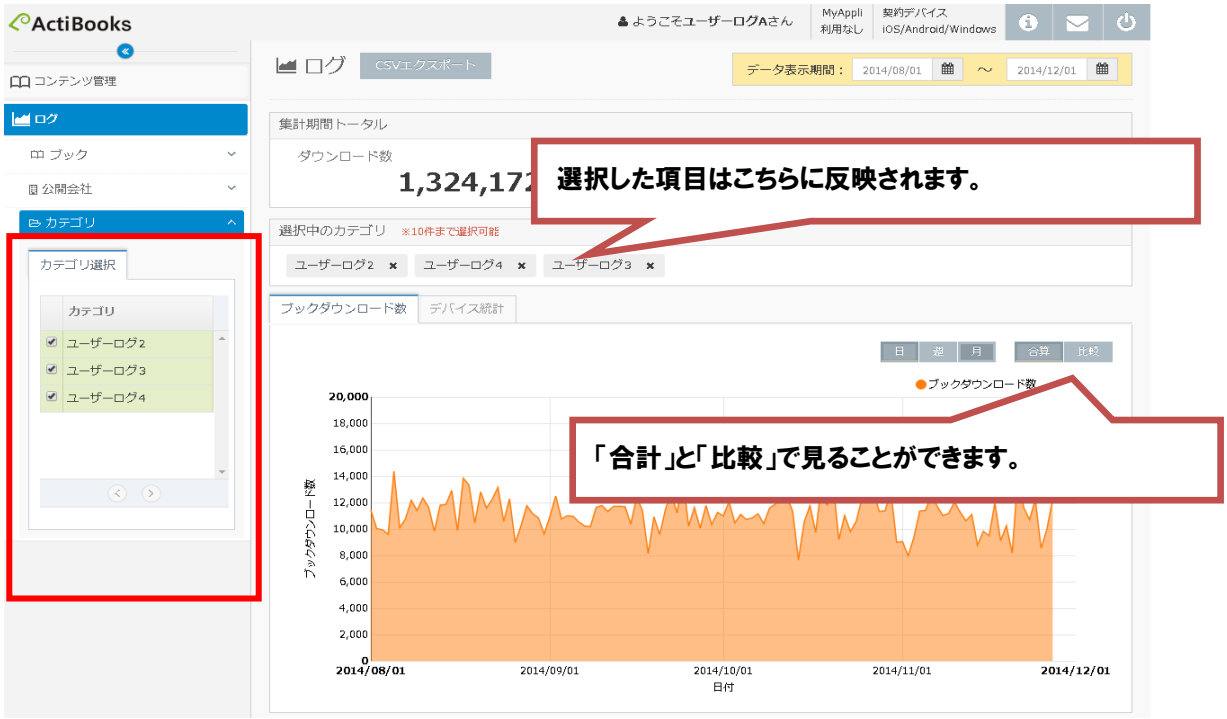
■ ブックの状況を公開会社ごとに見ることができます。



※Cloud MyAppli のお客様では Public のプランのみ有効になります。

１４-３　カテゴリをベースに見る

■ ブックの状況をカテゴリごとに見ることができます。



※Cloud MyAppli のお客様では Public のプランのみ有効になります。

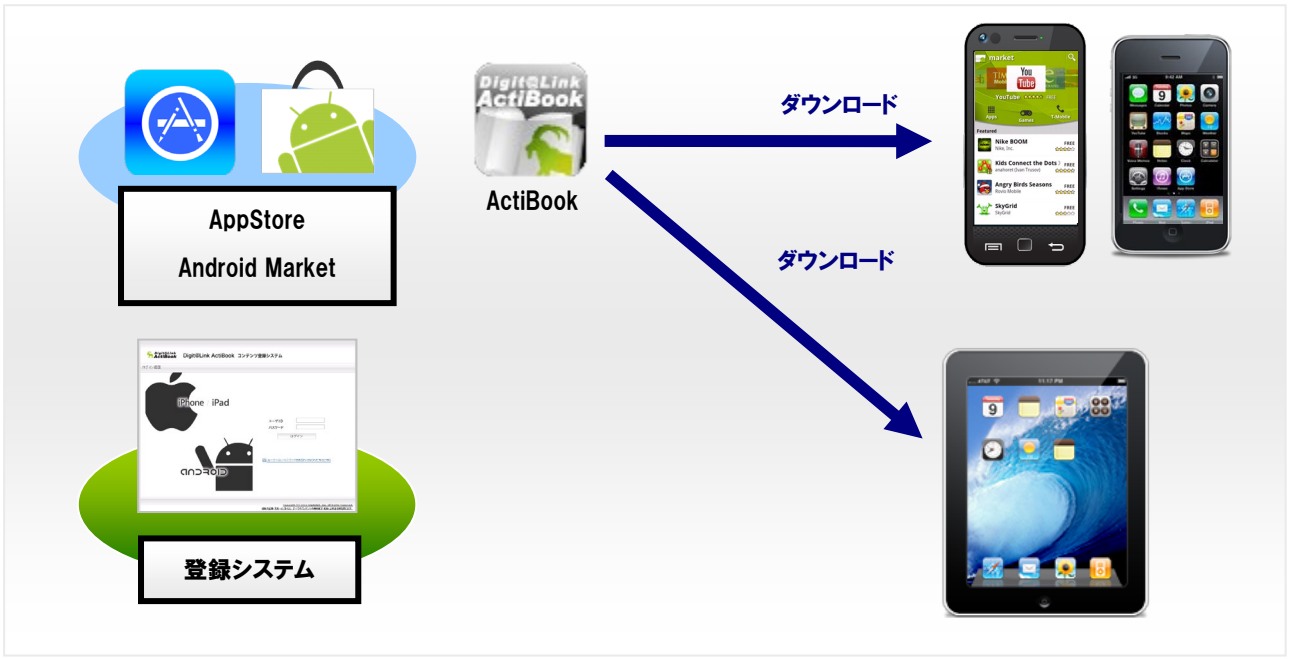
Digit@Link ActiBook

登録後の閲覧/ダイレクトリンク

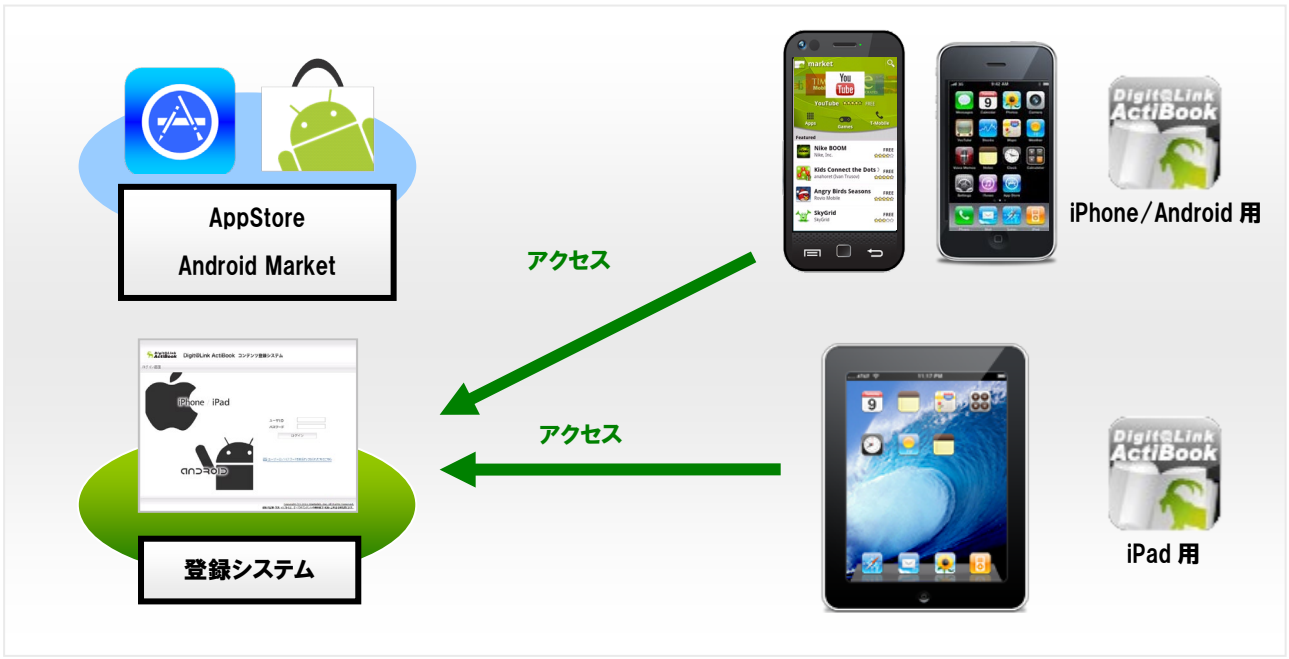
１５　登録後の動作確認

コンテンツは、アクセスした端末に合わせて自動的にビュワーアプリとコンテンツを配信する

仕組み「ユニバーサルアプリ」となっています。



アプリでコンテンツを閲覧すると、取得した端末に合わせて自動的にアプリが配信されます。



スマートデバイスから登録システムにオンラインアクセスを行なうと、コンテンツが表示されます。

（この時登録されているコンテンツに iPad 用の閲覧データが含まれていない場合は iPad では閲覧できません）

１６　ブラウザからコンテンツへのダイレクトリンク

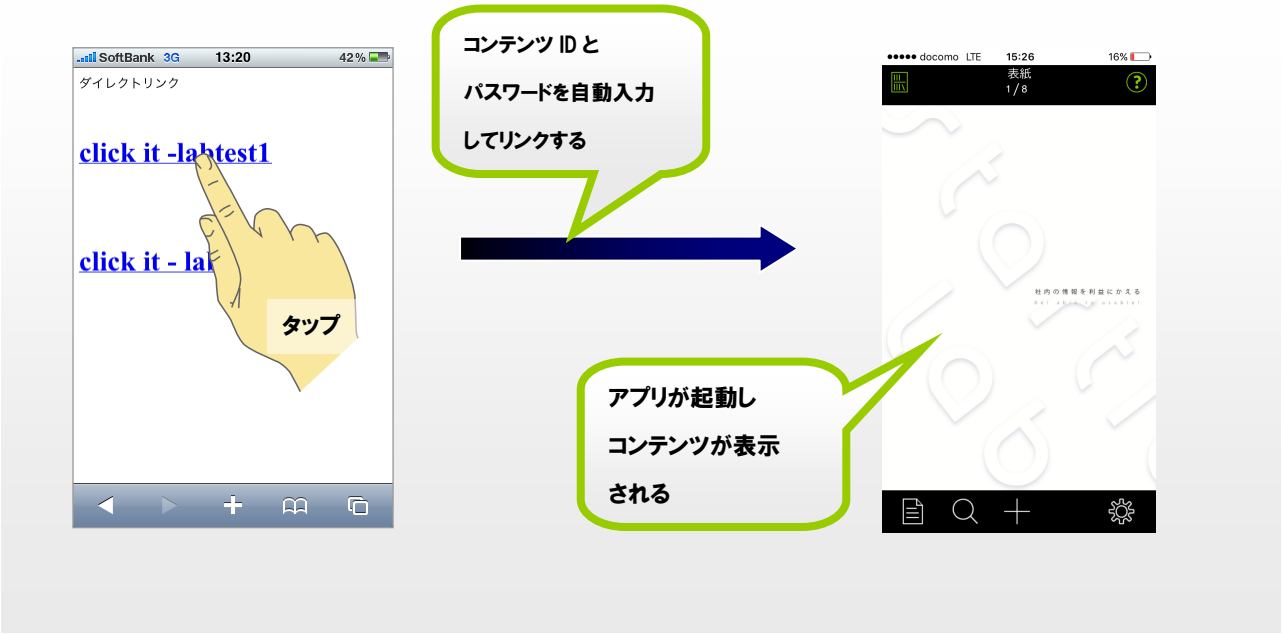
コンテンツ ID・パスワードの登録後、PC 用のインターネットブラウザより閲覧できる WEB ページ上に

ActiBook スマートデバイス用コンテンツへのハイパーリンクを貼ることができます。

ここではスマートデバイス用コンテンツに直接アクセスする URL を“ダイレクトリンク”と呼称し説明します。

ダイレクトリンクを設定することにより、コンテンツの閲覧者がコンテンツIDとパスワードを入力する手間を省きます。

「ダイレクトリンク」は、画面上のリンクをタップすると、直接電子ブックを開きます。



ダイレクトリンクの動き

PC から閲覧した場合	ブラウザ	→ ダイレクトリンク	→ 閲覧できません
スマートデバイスから閲覧した場合	各スマートデバイスの標準ブラウザ	→ ダイレクトリンク	→ コンテンツを閲覧

※ PC のブラウザからスマートデバイス用コンテンツを直接閲覧することはできません。

スマートデバイス端末にビュワーアプリがインストールされている場合に限ります

（コンテンツを設置したサーバ環境によっては、スマートデバイス用コンテンツのフォルダ構成が表示されます）

１７　ダイレクトリンクの作成方法

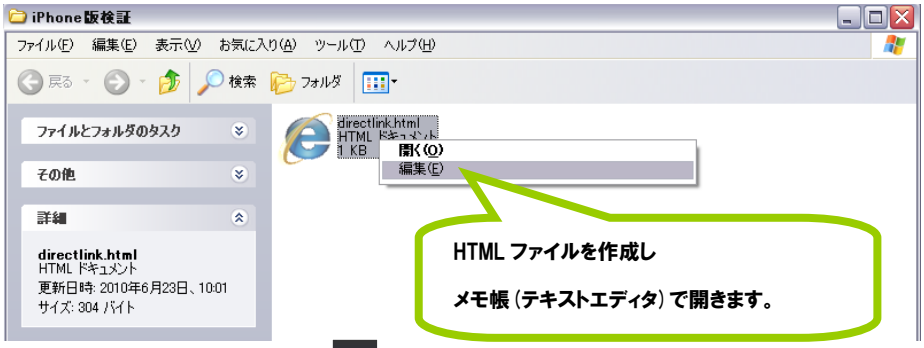
HTML ファイルにスマートデバイス用コンテンツへのダイレクトリンクの作成方法を案内します。

① 登録システムへコンテンツを登録、コンテンツ ID・パスワードを発行します。

作成したコンテンツをコンテンツ登録システムに追加し、コンテンツ ID とパスワードを発行します。

ダイレクトリンクを作成するには、コンテンツ ID が必要です。（パスワードは未設定でも設置できます。）

② HTML ファイルを作成しリンク（アンカータグ）を編集



iPhone Safari で閲覧した場合

以上のように HTML ファイルを編集するとハイパーリンクが“ダイレクトリンク”となります。

例１）:コンテンツ ID、パスワードを設定している場合の記述方法

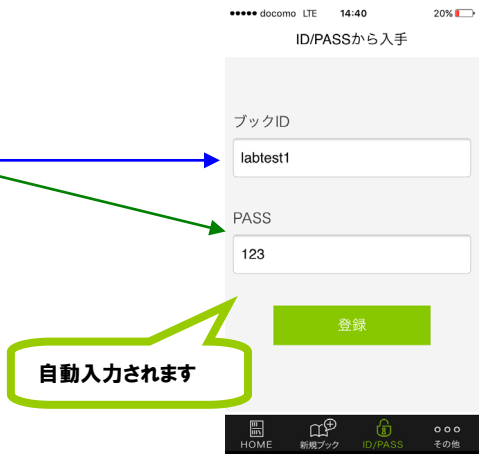
click it -labtest1

コンテンツ ID　パスワード

例２）:コンテンツ ID のみ設定している場合の記述方法

click it -labtest1

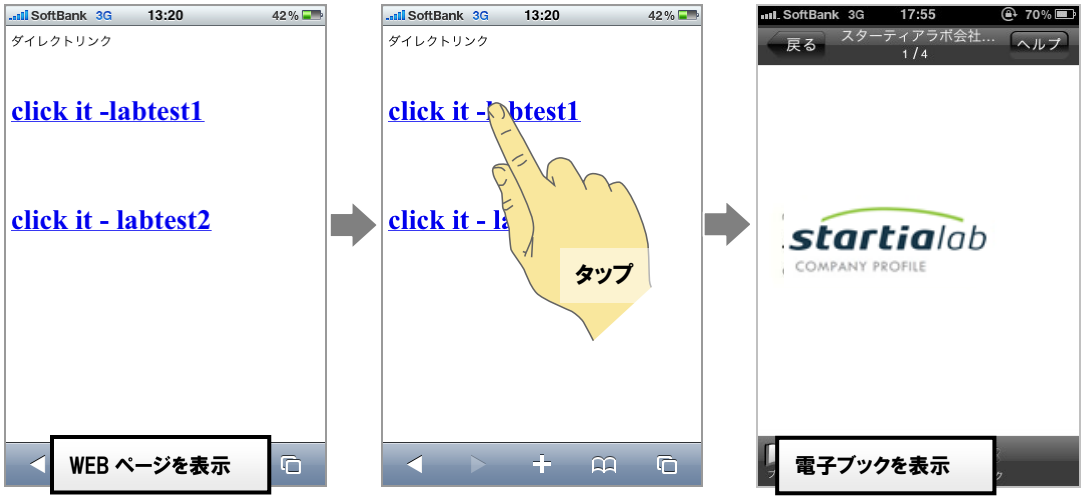
パスワードを記述しません



③ 【動作確認作業】スマートデバイスでブラウザを起動します。

②でリンクを記述した HTML ファイルをブラウザでアクセス可能なファイルサーバー上にアップロードします。

アップロードした HTML ファイルをスマートデバイスの画面から、各デバイスの標準ブラウザを起動して閲覧します。



リンクをクリックした後に、ただしく電子ブックの１ページ目が表示されれば作業完了です。

※ リンク先にスマートデバイス用コンテンツが登録されていない場合はエラーメッセージが表示されます。

１７－１　iPhone/iPad/Android アプリ　「ActiBook」　ダウンロードのリンク作成

ダイレクトリンクを設置する場合、ビュワーアプリをインストールしていないユーザがアクセスすると
「無効なリンクです」とエラーメッセージが表示されます。

AppStore/Android Market でダウンロードできる「ActiBook」へのリンクは、下記URLを(「ダイレクトリンク作成方法」と同じ方法で）
編集／公開していただければ作成できますので、ダイレクトリンクに併記する形で設置していただくと利用者に対し
より親切なページとしてご提供いただけますので是非お使いください。

■ AppStore「ActiBook」アプリのダウンロード／インストールページへのリンク

└ http://itunes.apple.com/jp/app/actibook/id373073800?mt=8

■ Android Market「ActiBook」アプリのダウンロード／インストールページへのリンク

└ https://market.android.com/details?id=com.startialab.actibook

Digit@Link ActiBook

ActiBook Manager との連携

１８　ActiBook Manager との連携

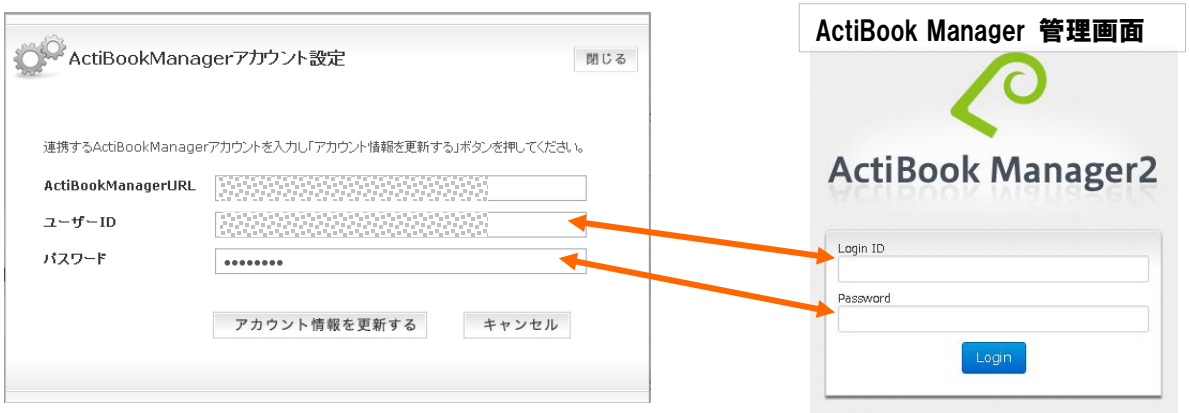
ActiBook SaaS のビジネスプランをご契約のお客様にのみ、「ActiBook Manager」との連携機能を利用することができます。

１８-１　初期設定１　アカウントの設定

ActiBook SaaS の管理画面にログイン後、アカウントメニューを表示します。

ご契約のプランで ActiBook Manager との連携機能が有効の場合、「ActiBook Manager 連携アカウント設定」のメニューが表示されます。

「アカウント情報を編集する」のボタンをクリックし、ActiBook Manager のサイト情報を入力します。



ActiBook Manager URL	ご契約時に発効された ActiBookManager の URL を入力します。
ユーザーID	ActiBook Manager の初期管理者 ID を入力します。
パスワード	ActiBook Manager の初期管理者パスワードを入力します。

上記の値を入力後、「アカウント情報を更新する」ボタンをクリックします。

１８－２　初期設定２　ActiBook Manager 連携メニューの操作

アカウント画面での設定が完了すると、コンテンツメニュー内の、各コンテンツの詳細画面にメニューが表示されます。

コンテンツ詳細画面に ActiBook Manager との連携用のメニューが表示されていることを確認してください。
メニューが表示されれば、初期設定は完了です。

１９　ActiBook Manager 連携メニューの操作

アカウント画面での設定が完了すると、コンテンツメニュー内の、各コンテンツの詳細画面にメニューが表示されます。

ActiBook Manager ブック ID	ActiBook Manager と連携済みの場合、ブックコードが表示されます。
公開設定	ActiBook Manager に連携後、SaaS 上で公開中の URL を非公開にします。

設定を確認後「ActiBook Manager に送信」ボタンをクリックします。

「ActiBook Manager に送信」ボタンをクリックすると、下図の通りダイアログが表示されます。

送信が完了すると、「ActiBook Manager との連携が完了しました。」というメッセージが表示されます。

これで Manager への連携作業は完了です。

送信完了後、ActiBook Manager 管理画面のボタンをクリックして ActiBook Manager にアクセスします。

以下のログイン画面が表示されたら、管理者「ユーザーID」と「パスワード」を入力してログインしてください。

入力する内容は P.110 の初期設定時に設定したユーザーID、パスワードと同一です。

※ActiBook Manager の操作方法については別途「ActiBook Manager 運用マニュアル」をご覧ください。

１９－１　ActiBook Manager 連携②（既に ActiBook Manager に送信済みのブックの場合）

既に ActiBook Manager と連携済みのブックに対して「ActiBook Manager 連携」ボタンを押した場合。

ActiBook Manager ブック ID	**ActiBook Manager と連携済みの場合、ブックコードが表示されます。 対象のブックコードに対してブックを再送信します。**
再送信	**SaaS 上で Manager に送信済みのブックに対してを再送信を行い、ブックの更新を行います。**
連携を解除	**ActiBook Manager との連携を解除します。 連携を解除されたブックは ActiBook Manager 上から削除します。**

※「再送信」についてですが、出力設定の「Flash 版」「スマートデバイス版」「HTML5 版」にチェックが入っていないブックは Manager 上より削除されます。

ブックの更新を行う場合は、更新対象のブックにチェックを入れてから「再送信」してください。

お問い合わせ

２０　【サポートへのお問い合わせ】

ご不明な点がございましたら以下の連絡先にお問い合わせください。

お電話番号：

03-5339-2905

受付時間：　月～金　9:00～18:00（土日祝を除く）

E-Mail アドレス：

ebook@startialab.co.jp

スターティアラボ 一同

お問い合わせを心よりお待ちしております。

スターティアラボ株式会社
Webソリューション事業部
ActiBook SaaS担当
〒163-0919
東京都新宿区西新宿2-3-1
モノリスビル21F
私書箱番号7018号
TEL　03-5339-2105（代表）
FAX　03-5339-2110
http://www.startialab.co.jp

Startialab solution

web design

ebook

mobile marketing

intrawik

eshop

web system

Site analysis